

# 南国暮らしの会

2018年 春季号



No.358 松村 祐子氏提供 静岡県熱海市糸川のあたま桜



NPO法人 南国暮らしの会

平成30年5月11日

# 南国暮らしの会 (2018年 春季号) 目次

## 平成 30 年度総会案内

(敬称略)

平成 30 年度 (第 21 期) 南国暮らしの会総会のご案内	No. 434	大野 悦子	1
平成 29 年度事業報告書	No. 434	大野 悦子	3
平成 29 年度 特定非営利活動に係る事業の会計 収支計算書			13
平成 29 年度 特定非営利活動に係る事業の会計 貸借対照表 監査報告書			14 15
平成 30 年度事業計画書 (案)			16
平成 30 年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書案			17
南国暮らしの会 定款改定案			18

## 会員からの投稿 1 フィリピン特集

フィリピンの概要、観光、ロングステイ、リタイアメント

—もっと楽しいフィリピン—	フィリピン観光省 セクション チーフ	横山 泰彦	20
北ルソンの旅	No. 227	斉木 一	23
ダバオと私	No. 1032	瀧川 清人	23
介護人材 (人財) を求め ダバオへ	日本語教師	牧野 利通	26
ミンダナオの楽園カリナン	No. 1684	加藤 義二	30
ダバオで暮らして	No. 1261	藤本 晴久	32

## 会員からの投稿 2

北海道北広島市でちょっと暮らし体験	No. 1437	金澤 公平・正子	33
チェンマイ下見旅行	No. 1726	佐々木俊治	37
女 2 人 タイ国鉄 (SRT) 新・寝台列車アドベンチャー旅	No. 1847	青柳 由美	38
熟男・熟女絶景巡りの旅	No. 543	清水 重一	41

## 支部便り

東北支部便り	No.1027	佐藤 周司	44
関東甲信越支部便り	No.1607	阿部 滋敏	45
東海支部便り	No.1601	高島 恵	47
関西支部便り	No. 501	大川 泰永	49
九州支部便り	No. 581	朝永 清寿	50
チェンマイ支部便り	No.1041	中西 岩夫	51
ペナン支部便り	No.1630	菅野 純	52
クアラルンプール支部便り	No.1822	酒田 充	53
ダバオ支部便り	No.1261	藤本 晴久	54
ハワイ支部便り	No.1439	塩川 亨	55

## 部会伝言板

総務部伝言板	No.1763	小西 隆司	55
経理部伝言板	No.1032	瀧川 清人	56
広報部会伝言板	No.1207	宮原 正宇	56
会員部会伝言板	No.1388	寺田 光江	57

## 友好団体紹介コーナー

南国暮らしの会 支部一覧			58
編集後記			58

# 平成30年度（第21期）南国暮らしの会総会のご案内

理事長 大野悦子

若葉の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、南国暮らしの会にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、通常総会を下記要領にて開催いたしますので、ご出席を賜りたくご案内申し上げます。

表決権を有する会員は同封の葉書に出欠を記入しご返送願います。また、欠席の方は同じ葉書に下記記載の「平成30年度総会表決権行使委任状」に記入しご返送をお願い致します。

尚、今年度の総会表決権行使資格者は、本年4月2日迄に平成30年度会費を納入された継続会員の方（改訂細則第10条3）ですのでご承知おき下さい。（葉書は表決権を有する方のみ同封しております）

## 記

日 時：平成30年5月27日（日）午前10時～11時50分

場 所：東京都南部労政会館第6会議室 JR大崎駅 南改札口徒歩3分（案内地図2頁参照）

## 1. 総会議題

\* 第1号議案：平成29年度事業報告及び会計報告・監査報告について

（会報春季号3～15頁参照）

\* 第2号議案：理事退任、選任理事の信任について

①退任理事：No. 434 大野悦子	No. 1388 寺田光江	No. 1207 宮原正宇
No. 1208 澁谷幸一	No. 670 今野力男	No. 1032 瀧川清人
No. 1431 兼森省治	No. 173 平山三雄	No. 1668 槇野昭一
No. 888 勝本隆文	No. 1704 北峯康夫	

②新任理事：No. 1601 高島 恵	No. 1657 久保田清文	No. 1682 守田 章
No. 1712 定國 和	No. 1717 丸山俊江	

③再任理事：No. 1225 高橋眞治	No. 1575 吉田 博	No. 1607 阿部滋敏
---------------------	---------------	---------------

\* 第3号議案：監事退任、監事選任について

①退任監事：No. 1591 肥後信彦

②再任監事：No. 1068 山科滋雄

\* 第4号議案：平成30年度事業計画について（会報春季号16頁参照）

\* 第5号議案：平成30年度予算案について（会報春季号17頁参照）

\* 第6号議案：定款変更について（会報春季号18～19頁参照）

\* その他：

## 2. 総会の議事進行について

総会開催にあたり、会員皆様には各議案案内を本会報にて事前にご検討して頂き、ご出席できない方は同封葉書「平成30年度総会表決権委任状」を予めご提出頂くことに

しております。(提出期限は5月24日必着。この期限を過ぎた委任状は失効しますのでご注意ください。) また、海外支部には電子表決権行使委任状を支部長宛にメール致しますので、宜しくお願い致します。

当日ご出席の方は員数確認のため必ず10時迄に受付を済ませて入場下さい。

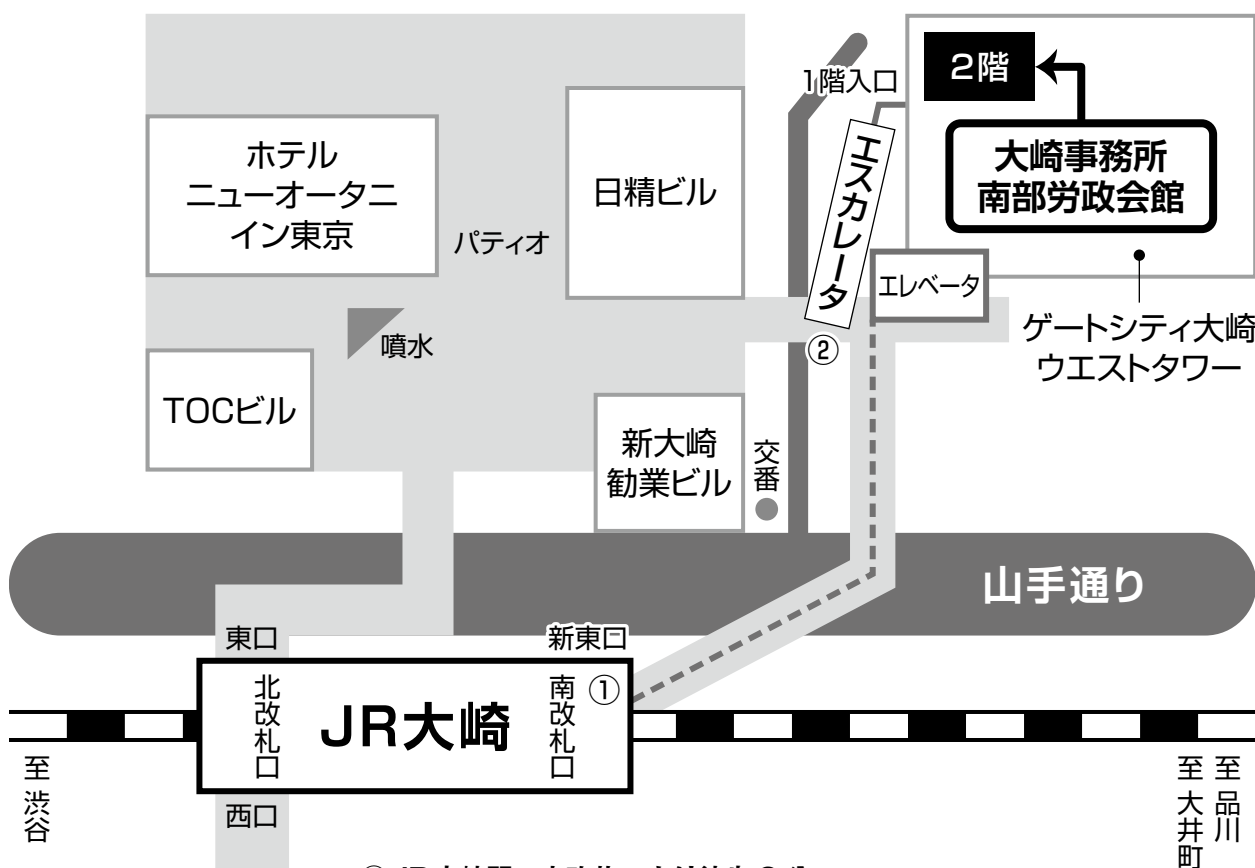
受付係も表決権者ですので10時迄に受付を終了します。尚、遅刻されますと表決権は失効しますのでご注意ください。

総会に議事資料の詳細説明は極力省き、効率よく進行を図りたいと思いますので、皆様方のご協力をお願いいたします。また、議事終了後に質疑応答をお受けいたします。従いまして、当日は本会報を必ずご持参下さい。

尚、表決権を有しない会員(4月以降に入会された新会員、会費納入が4月以降の継続会員及び家族会員の方は別の席：総会会場議長席に向かって左側)に席を設けてありますので、そちらにご着席下さい。

※関東甲信越支部 支部総会・サロン会は、同日(5月27日)13:30～同会場で開催されます。

・・・・・・・・ 総会会場 (東京都南部労政会館のご案内) ・・・・・・・・



① JR大崎駅 南改札口より徒歩3分

②連絡デッキのエレベーター、またはエスカレーターで1階に降りて、1階入口より入る

東京都品川区大崎 1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー 2階  
Tel : 03-3495-4915

# 平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会  
理事長 大野 悦子

## 1. 事業の成果

### 1) 理事会

本年度は、昨年度末に 4 名の理事が退任されました為、その補充として 5 名の理事が加わって、再任理事 13 名と、合計 18 名の理事で業務分担して、それぞれが担当した業務を果たし、会の運営も支障なく実務を遂行することが出来ました。

### 2) 国内支部活動

各支部ともサロン会、情報交換会、「この指とまれ方式」の旅行会など活発な活動が行われました。平成 29 年 5 月 27 日（土）には、品川第二地域センターで、年に一度、国内支部長（帰国中の海外支部長も参加可能）が一堂に会し、役員（理事、監事）も出席して「役員・支部長会」が開催され、各支部の 1 年間の活動報告や次年度の活動予定が報告され、意見交換も活発に行われました。

また、これに先立ち、平成 29 年 5 月 13 日（土）には、関西支部がお手伝い下さいまして、「第 2 回ロングステイ・フェア 2017 in 大阪」で「南国暮らしの会」もブースを出しました。

東海支部では、支部長の交代があり、No.1601 高島 恵氏が就任されました。また関西支部でも支部長の交代があり、No.501 大川 泰永氏が就任されました。

### 3) 海外支部活動

海外支部では、それぞれの支部でサロン会、食事会、ゴルフ、テニス、小旅行、その他、短期訪問会員への支援も活発に行われ、感謝されております。

チェンマイ支部では、昨年 10 月から「タイ義肢財団」への「古ストッキングの提供協力」が再開され、会員の皆様から提供があり、感謝致しております。

クアラルンプール支部では、支部長の交代があり、No.1822 酒田 充氏が就任されました。

### 4) 会報について

年に 3 回、春季、夏・秋季、新年の各号として発行致しました。会員の皆様からの寄稿協力を頂きまして、お陰様で「夏・秋季号」が、70 号を迎えました。また、HP でも閲覧出来るように致しております。今後とも一層、充実した会報にしていきたいと思っております。

### 5) 広報について

毎年、新年度早々にロングステイ財団及びマレーシア政府観光局、フィリピン政府観光省、タイ国政府観光庁等、関係官公庁を訪問し、各事務局との連携を強化し各国のセミナーなどに「南国暮らしの会」から講師を派遣したり、広報部会関係者も参加して会の PR が出来ました。また、平成 29 年 11 月 20 日（月）に「東京国際フォーラム」で開催された「ロングステイ・フェア 2017」に参加して、会の PR が出来、新規入会者の増加となりました。

友好団体の「NPO 法人 リタイアメント情報センター」が創立 10 周年を迎え、その「記念季刊誌」に「お祝い文」の寄稿依頼があり、「御挨拶文」をお送りし、「10 周年記念号」

が送られてまいりました。また、「キャメロン会」の事務局長から訪問を受け、情報交換を致しました。

#### 6) HP (ホームページ) 及び「南国暮らしの会掲示板 (BBS)」と「南国 ML」について

新規入会者は、HP を見て入会される方が大半で HP の意義は当会にとって大きな存在ですが、絶えず情報のメンテナンスを行い新鮮な情報を外部に発信出来るように努めました。「南国暮らしの会掲示板 (BBS)」は、発足から 4 年が経ち、会員の皆様の情報発信の拠り所となるように努めてまいりましたが、2 年前から BBS と HP のパスワードを年に 1 度変更するようになってから閲覧数が減り、「南国メール」の復活要請が多数寄せられるようになった為、昨年 10 月から「南国メーリングリスト (通称 南国 ML)」を復活致しました。

#### 7) 会員部会について

「南国暮らしの会」への入会のお問い合わせに、すぐ対応出来るよう、部会員と委員が交代で務めてまいりました。また、会員の情報管理のシステム操作の勉強用に、ノートパソコンを購入し、会員部会の業務に役立っております。

#### 8) 支部活動補助金について

支部活動補助金の支払い実績は、以下のとおりです。また、海外支部長には各 5,000 円の海外支部長活動費を支出しております。

関 東 甲 信 越 支 部	45,000
関 西 支 部	40,000
東 海 支 部	30,000
九 州 支 部	30,000
北 海 道 支 部	30,000
東 北 支 部	10,000
チェンマイ支部	35,000
ペナン支部	15,000
セブ支部	10,000
K L 支 部	15,000
バギオ支部	10,000
ハワイ支部	15,000
G C 支 部	10,000
ダバオ支部	15,000
計	310,000

#### 9) 「特別委員会」について

2 年前に広報部会の中の委員会として「アフターロングステイ委員会」を発足させまして、12 回ほど活動致しましたが、本来は、「特別委員会」として活動した方がより良いということで、今年度から、「特別委員会」として、活動することになりました。「勉強会」が、6 月、9 月、11 月に行われ、3 月にも開催されました。

## 2. 事業の実施に関する事項

### 1) 会報部会 作成／発行

◎春季号 (VOL.69) 平成 29 年 5 月 12 日発行

4 月 18 日 ロクオ企画訪問し、修正箇所の打ち合わせ

4 月 22 日 修正箇所を最終確認し、印刷 OK を連絡する。

◎夏・秋季号 (VOL.70) 平成 29 年 9 月 8 日発行

5 月 28 日 会報「夏・秋号」作成打ち合わせ

6 月 1 日～ 7 月 19 日 原稿募集、編集作業

7 月 20 日 ロクオ企画訪問、編集打ち合わせ

8 月 13 日～ 8 月 17 日 郵送されたゲラ刷りを校正する。

8 月 18 日 ロクオ企画訪問、修正箇所打ち合わせ

8 月 22 日 修正箇所を最終確認し、印刷 OK を連絡する。

◎新年号 (VOL.71) 平成 30 年 1 月 10 日発行

9 月 24 日 会報「新年号」作成打ち合わせ

10 月 1 日～ 11 月 15 日 原稿募集、編集作業

11 月 16 日 ロクオ企画訪問、編集打ち合わせ

12 月 13 日～ 12 月 17 日 郵送されたゲラ刷りを校正する。

12 月 18 日 ロクオ企画訪問、修正箇所打ち合わせ

12 月 22 日 修正箇所を最終確認し、印刷 OK を連絡する。

「春季号 (VOL.72) 平成 30 年 5 月 11 日発行予定」

1 月 20 日 会報「春季号」作成打ち合わせ

2 月 1 日～ 3 月 19 日 原稿募集、編集作業

### 2) 広報部会

#### ①新年度人員体制

楨野昭一氏が退任され、宮原、寺田、吉田の既存メンバーに新たに勝本隆文氏が加わり、昨年同様 4 名体制でスタートした。

#### ② 6 月、関係先への表敬訪問実施

※一般財団法人 ロングステイ財団 (窓口担当 事業部長 常岡 武氏)

※タイ国政府観光庁 (窓口担当 マーケティングマネージャー 藤村 喜章氏)

※マレーシア政府観光局 (窓口担当 マーケティングマネージャー 徳永 誠氏)

※フィリピン観光省 (窓口担当 セクションチーフ 横山 泰彦氏)

※イカロス出版 (株) (窓口担当 第 4 編集グループ 戸部 勲氏)

上記 5 か所につき、広報部会メンバーに大野理事長を加え、2 日間に分けて表敬訪問し、新任の勝本氏を紹介するとともに、南の会との情報交換交流につき、更なる親密化を図るべく、今後とも協力体制の維持を図ることを双方で確認した。

#### ③フィリピン カクテルレセプションに出席

フィリピン観光省の招請を受け、6 月 29 日に丸の内の東京パレスホテルにて催された同上レセプションに、広報部会より宮原部会長と寺田副部会長 2 名が出席し、フィリピン観光省東京支局の要人多数と名刺交換して、情報交換に努めた。

#### ④ 11月、「東京ロングステイフェア」に出店

例年恒例となったロングステイ財団主催の上記フェアに、今年も南の会から出店し、会の情報宣伝活動を大いに実践した。

今年では会場を有明から有楽町の「東京国際フォーラム」に移し、開催時間帯も13:00～20:00に変更して帰宅途中のサラリーマンを呼び込む作戦等、運営方法にかなりの変更が見られた。

南の会では大野理事長を含む三役と、広報部会メンバー、及び応援理事を入れて10名が当日の出店ブースの設営に手弁当で参加し、顧客の呼び込みからアンケートの実施と、会の紹介案内等に奔走した。

当日の入場者数は財団の公式発表では8,053人とのことであったが、実情は例年より少なく7,000人前後ではないかと推定された。

南の会の成果としては、アンケートを約50件回収し、そのうちメール住所や電話の記入のあった約20件の顧客に対し12～1月の関東甲信越支部サロン会へのゲスト参加を呼び掛け案内したところ、延べ10名以上のゲスト参加があり、うち8名の方を新規会員として入会確保することが出来た。

#### ⑤ 観光ニュース提供会社への取材対応

本年1月、チェンマイ滞在中の宮原広報部会長と広報部会副部会長の寺田氏のもとへ、タイ国政府観光庁から紹介されたとのことで同じく在チェンマイ中のトラベルボイス(株)の特派記者、山田友樹氏より、チェンマイにおけるロングステイの実情につき、取材させて欲しいとの依頼があった。

当該会社は主にインターネットを媒体として各種観光情報を全国顧客に提供することを本業とする会社であり、南の会としても今後の情報入手先の拡大を勧奨し、取材に応じる事とし、寺田副部会長の宿泊先にて宮原広報部会長共々取材を受けた。

取材の主たる内容は、日本人中高年のチェンマイにおけるロングステイの実情であり、南の会の実情に併せて当方の知りうる情報を提供し、約1時間の取材を終えた。

取材内容については、3月6日付で、同社のインターネット情報サイトにて紹介された。

尚、詳細については3月7日付けのMLにて寺田広報部会副部会長よりご紹介しているもので、参照されたい。

#### ⑥ チェンマイにおける新人会員のフォロー活動

ここ数年12月～2月のハイシーズンにチェンマイでのシーズンステイを楽しむ南の会の会員数が増える傾向にあり、そこで同じく在チェンマイ中の広報部会のメンバーとして新入会員や、チェンマイ初訪問の方々を中心にお誘いし、広報部会の任意企画として各種旅行や食事会を呼び掛け、参加者の皆様にあらゆるチェンマイ生活情報を提供することにより、ロングステイの醍醐味の一端を感じ取って頂くべく、努力している。

(今年実施した主な企画一覧)

※ランパーンの街並散策日帰りバス旅行(参加者27名)

※チェンマイのグランドキャニオン公園日帰り旅行(2日間に分けて実施し、参加17名)

※2月3日の花祭り見物と昼食会及び夕食会(イタリア料理、参加者18名)

※タウイチョル植物園とサンカンペン温泉の日帰りバス旅行(参加者18名)



### ⑦ ML（メーリングリスト）の活用

昨年より従来のBBS掲示板に加え、ML（メーリングリスト）が復活したため、よりスピーディに情報提供が可能となり、広報部会としても対外的なロングステイ関連の行事に関するご案内等、より多くの情報提供を心掛け、日々新たなニュースを発信している。

### 3) ネット部会

29年度ネット部会の取り組みとして休止中であった南国MLを昨年10月に再復活する事が出来、南国掲示板（BBS）と併用で南国暮らしの会（南の会）情報ツールの充実と強化を行ないました。これにより一部事情有る会員を除き全ての会員に「南の会」の運営方針周知や会員相互の情報交換の場の提供が可能になりました。

また、BBSも従来のスレッドに新たに「お出掛け情報」を新設、会員の渡航先及び動向等をより知る事が出来る様に成りました。

一方、ホームページ（HP）に於いては「南の会」の認知度向上と新規会員確保の一翼を担うべく閲覧頻度アップを目指し、タイムリー且つ鮮度重視の情報提供に努めました。尚、南国掲示板（BBS）とHPの会員専用のパスワードは利便性を重視し今年度は変えておりません。

### 4) 会員部会

◎5月 会員部会勉強会（前年度になりますますが初めの月からでは間に合わない為）会員部会・会員部会委員全員が集まりパソコン等の操作方法確認

◎6月（年度初め）29年度分郵便振替用紙を郵便局へ申請する。郵便振替用紙印刷作業（400～500枚程度）

◎7月・8月 会員部会勉強会 会員名簿作成準備・作成、作成次第ロクオ企画へ印刷依頼

◎常時行う作業・等

○休会・退会・再入会手続き作業（会員名簿へ記載作業）

○会報発行がある春季号・夏・秋季号・新年号の度 会報発送宛名シール集計作業及びロクオ企画へ送付作業

○入会資料請求者への送付（1年間90～100件）（随時）

○会友データ確認作業（随時）

◎1月・2月・3月 継続会員の経理からの連絡を待ち入金確認後会員名簿へ記載作業  
1週間で多いときは70～90名程度の会員名簿へ書き込み作業

◎4月 会費未納の会員のリスト作成

会費遅延の連絡簿作成し各支部長へ連絡

4月初め	会報春季号	会報夏・秋季号	会報新年号
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/31までに会費を納入した継続会員リスト作成</li> <li>・会費未納者リスト作成</li> <li>・退会処理</li> <li>・支部長へ未納者リスト送付し、督促依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表決権ありとなしを加味して発送シール作成</li> <li>・委任状（葉書）を表決権ありの会員へ同封</li> <li>・会員名簿補遺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員名簿作成同封</li> <li>・会員名簿補遺は無し</li> <li>・発送シール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会費用振替用紙</li> <li>・会員名簿補遺</li> <li>・発送シール</li> </ul>

◎4月5月 表決権者の名簿を総務に送る。

総会の表決権者は細則第10条(3)により、3月31日までに会費を納めた会員となっております。さらに、総会に出席出来ない会員は、委任状を提出することになっていきます。このため、委任状の葉書を会報春季号(5月初旬に発送)に同封して送ります。

◎年1回程度、支部毎員数を理事会へ報告

◎会の電話は会員部会で担当してお預かりしています。

年間問い合わせ40～50件ほど部会員が交代で対応しています。

### 3. 国内外支部活動報告

#### 1. 北海道支部

- ①支部総会・2回開催(6月、10月)参加者65名
- ②女性サロン会(7月)参加者8名
- ③支部役員会3回開催(6月、9月、12月)
- ④ゴルフ会2回実施(5月、9月)参加者35名
- ⑤「LSのお試し住宅」見学会サポート(東海支部)
- ⑥神奈川県湯河原へショートステイの実施(2月、7名参加)
- ⑦北海道新聞社「60歳からの生き活き術」海外ステイのコラムに寄稿
- ⑧札幌開催の各種LSセミナー参加
- ⑨東海支部との懇親会 参加者24名(東海支部11名)
- ⑩チェンマイにて北海道支部会員の情報交換会

#### 2. 東北支部

- ①支部総会(4月23日)会計報告、参加者6名
- ②第1回サロン会、情報交換会、懇親会開催(4月23日)参加者6名
- ③29年度「役員・支部長会議」概要説明
- ④希望者で鳴子温泉、巖美溪、中尊寺観光(4月24日)
- ⑤フィリピン ダバオ7日間の旅 参加者2名
- ⑥第2回サロン会、情報交換会、懇親会開催(9月24日)参加者6名
- ⑦希望者で松島、瑞巖寺、福浦島観光(9月25日)

#### 3. 関東甲信越支部

- ①支部総会(5月28日)
- ②サロン会 8月と2月を除く10回実施、参加者450名(平均参加者45名)。6月ロングステイ財団常岡事業部長、11月日本大学船山元教授、12月フィリピン観光省横山セクションチーフ、3月マレーシア政府観光局山田コンサルタント等、外部講師も積極的に招聘して講演頂いた。また、9月にフィリピン ミンダナオ大学から亜細亜大学に留学されているアイリーンさんのお話を伺う事も出来た。
- ③懇親会、サロン会終了後10回実施、参加者350名(平均参加者35名)
- ④支部役員会10回実施(重任11名、新任2名、計13名)支部運営、サロン会テーマ、懇親会準備等

- ⑤ロングステイフェア 2017（11月20日）有楽町「東京国際フォーラム」で開催、支部として全面的に支援
- ⑥同好会
  - ・パソコン教室 10回実施、講師は渡辺会員で参加者は毎回15名程度
  - ・南国テニス同好会、毎月最終週の火曜日で12回実施、毎回10名～20名参加。現在会員数40名、9月27日～28日にテニス合宿を御宿で実施。会長がNo.1068 山科 滋雄会員からNo.1537 鈴木 昭一会員に交代
- ⑦この指とまれ、12月17日～18日エクシブ初島クラブで忘年会実施、南国暮らし掲示板（BBS）で募集、男性13名、女性8名 計21名参加

#### 4. 東海支部

- ①定例会1月を除く11回実施、毎月第2日曜日「ウイル愛知」にて 参加者166名
- ②支部役員会、定例会の前に6回実施
- ③サロン会、懇親会11回実施
- ④平日サロン会11回実施、小牧山城お花見23名、名古屋城見学8名、キリンビール工場見学15名、等 参加者142名
- ⑤ミニサロン会（9月）1泊2日の浜松出張サロン会 12名参加
- ⑥下見ツアー、この指とまれで、6月チェンマイ、8月北海道下見を実施、北海道支部との交流会実施
- ⑦同好会
  - ・ゴルフ同好会6回実施
  - ・脳トレ麻雀教室6回実施
  - ・PCタブレット、スマホの勉強会 定例会前の勉強会のほか4月浜松PC勉強会実施。ラインを東海支部有志グループ、北海道下見ツアーなどで活用
- ⑧オールドフレンドクラブ主催の催しを初期の頃の会員と現会員との合同で3回実施
- ⑨会員拡大の為「ウイル愛知フェスタ2017」に参加（訪問者約40名）

#### 5. 関西支部

- ①定例会、サロン会、懇親会5回開催 参加者206名
- ②支部役員会、4回開催 参加者42名
- ③同好会
  - ・パソコン教室2回実施 参加者19名
  - ・ゴルフ会 2回実施 参加者24名
  - ・関西ゆりの会（女性親睦会）2回実施 参加者34名

#### 6. 九州支部

- ①支部総会（6月5日）参加者17名  
定例会、サロン会、懇親会5回開催 参加者45名
  - ・6月5日 福岡市NPOセンター（あすみん）
  - 懇親会（手仕事ちゃぶ台）

- ・10月9日 熊本市民活動センター（あいぽーと）熊本情報交換会参加者10名  
懇親会（百姓茶屋）
- ・12月1日～2日 雲仙みかどホテル 九州支部忘年会 参加者18名

## 7. セブ支部

- ①情報交換会 アラヤショッピングモール内スターバックスで毎日
- ②支部懇親会 1回開催 参加者10名  
台湾シャブシャブ

## 8. バギオ・パンガシナン

- ①支部活動は来訪者が無く積極的な活動は出来ていません。
  - ・5月バギオの北ルソン島日比友好協会の小学生学費支援
  - ・6月日比友好協会支援学生クリスマスパーティに30個分のプレゼント贈呈。
  - ・2月日本の日比友好協会（大阪）のフィリピン慰霊団に南国暮らしの会として協力。

## 9. ダバオ支部

- ①サロン会 2回開催 参加者23名
  - ・7月19日 参加者 11名
  - ・1月18日 参加者 12名
- ②懇親会 3回実施
  - ・7月17日 アイランドホッピング 参加者7名
  - ・12月31日 年忘れアイランドホッピング 参加者7名
  - ・2月19日 海水浴 参加者8名
- ③慰霊祭 参加者7名
- ④冠婚葬祭 佐々木氏1周忌 参加者16名

## 10. チェンマイ支部

- ①支部役員会 4回実施 支部役員6名 窓口6名
- ②定例会、サロン会、懇親会 3回実施 参加者198名
  - ・8月23日 参加者39名
  - ・12月20日 参加者57名
  - ・2月2日 参加者102名
- ③同好会
  - ・ゴルフコンペ 2回実施 7月26日 参加者21名、2月13日 参加者53名
  - ・定例ゴルフ 週4回実施

## 11. ペナン支部

- ①支部総会（5月11日）天天魚酒樓
- ②役員会 5回実施
  - ・5月20日 Winter Warmers

- ・ 6 月 3 日 Winter Warmers
- ・ 9 月 30 日 Winter Warmers
- ・ 11 月 25 日 Winter Warmers
- ・ 1 月 13 日 Winter Warmers
- ③サロン会 4 回実施
  - ・ 6 月 14 日 梅苑餐廊
  - ・ 10 月 6 日 金門火鍋小館
  - ・ 12 月 6 日 喜洋城
  - ・ 1 月 26 日 天天魚酒樓
- ④同好会
  - ・ ゴルフ会 1 月 23 日 Mountain View Golf Resort

## 12. クアラルンプール支部

- ①支部総会（7 月 9 日）役員改選
- ②同好会
  - ゴルフ会 3 回実施
    - ・ 7 月 24 日 (KGPA)
    - ・ 1 月 4 日 (Staffield)
    - ・ 2 月 22 日 (Staffield)
- ③訪問会員対応、2 名
- ④情報提供活動 寄稿等
  - ・ 支部便り寄稿 3 回実施
  - ・ 2018 年新年号 「マレーシアにロングステイして 10 年、その理由は！」
  - ・ 2018 年 2 月 鮮度一 (KL 魚介類の卸問屋) のウエアハウスセールの紹介
  - ・ 2018 年 3 月 RHB 銀行の定期貯金プロモーション紹介
- ⑤会員移動
  - ・ 2017 年 7 月 守田章さん帰国
  - ・ 2018 年 2 月 松下茂さん帰国

## 13. ハワイ支部

- ①サロン会 1 回実施（6 月 13 日）参加者 会員外を含め 22 名
- ②同好会
  - ・ ゴルフコンペ ミニラニ 6 月 13 日 参加者 22 名
- ③懇親会 ゴルフコンペの表彰を兼ね 6 月 13 日 沖縄料理 サンライズ

## 14. ゴールドコースト支部

- ①会員の GC 訪問は年間 4 組か 5 組程度で期間が短く、十分な活動が出来ていません。
- ②支部での支援は携帯電話の貸出、食事会等。

## 4. 会の管理に関する事項

### 1) 総会開催

日 時：平成 29 年 5 月 28 日（日）10：00～11：50

場 所：東京都港区 港勤労福祉会館 第一洋室

正会員数：409 名

出席者数：247 名（内、総会出席者 34 名、書面・電子表決者 213 名）

### 2) 役員・支部長会議

日 時：平成 29 年 5 月 27 日（土）13：00～16：07

場 所：品川第二地域センター区民集会所 第一会議室

出席者：理事 12 名、支部長 7 名、監事 2 名、相談役 1 名、新理事候補 3 名の計 25 名

### 3) 理事会開催

		出席理事	委任状	出席監事
平成 29 年 6 月 17 日	第 1 回理事会	13 名	2 名	1 名
平成 29 年 10 月 14 日	第 2 回理事会	14 名	1 名	2 名
平成 29 年 12 月 9 日	第 3 回理事会	11 名	2 名	2 名
平成 30 年 3 月 17 日	第 4 回理事会	11 名	2 名	3 名
平成 30 年 4 月 8 日	第 5 回理事会	12 名	2 名	1 名

### 4) 法務局変更登記・東京都庁申請 平成29年6月29日

#### ・理事

①退任理事：No. 996 歌田 晃一 No. 1309 青木 一義 No. 1578 山本 雅巳  
No. 1581 黒川 敏彦

②再任理事：No. 173 平山 三雄 No. 1640 川野 俊次 No. 1668 槇野 昭一

③新任理事：No. 888 勝本 隆文 No. 1323 横山 正紀 No. 1704 北峯 康夫  
No. 1733 明間 崇文 No. 1763 小西 隆司

#### ・監事

①退任監事：No. 1361 木村 秀男

②新任監事：No. 732 馬場 章介

### 5) 会員動向

平成 28 年度から 29 年度への継続会員数：409 名（表決権者数）

平成 29 年度新規会員数：27 名

平成 29 年度再入会者数：21 名

平成 29 年度退会員数：0 名

平成 29 年度休会者数：0 名

平成 29 年度期末の会員数：457 名

平成 29 年度賛助会員数（個人）：0 名

また、平成 30 年 4 月 2 日迄に平成 30 年度会費を納入された継続会員は 417 名で会則により平成 30 年度の総会表決権者数は 417 名となります。

# 平成 29 年度 特定非営利活動に係る事業の会計 収支計算書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	実績 (B)	差額(B - A)	摘 要
<b>I. 収入の部</b>				
(1) 入会金収入	220,000	295,000	75,000	59 名
(2) 会費収入	2,690,000	2,620,000	△ 70,000	
(3) 資料売収入	46,000	45,000	△ 1,000	45 件
(4) 寄付金収入	0	0	0	
(5) 基本金等利息収入	0	18	18	
(6) 雑収入	0	1,850	1,850	
(7) 前期繰越金より繰入				
<b>1. 当期収入合計</b>	<b>2,956,000</b>	<b>2,961,868</b>	<b>5,868</b>	
<b>II. 支出の部</b>				
(1) 事業費	2,168,000	2,100,209	△ 67,791	
①会報等事業費	1,040,000	1,024,013	△ 15,987	年 3 回発行
②会報等送料費	280,000	221,362	△ 58,638	年 3 回発行
③資料等製作事業費	78,000	10,264	△ 67,736	
④報告書等製作事業費	70,000	68,623	△ 1,377	会員名簿製作
⑤広報活動事業費	350,000	425,947	75,947	LS 財団賛助会費を含む
⑥支部関係事業費	350,000	350,000	0	明細は事業報告書にあり
(2) 管理費	744,000	681,599	△ 62,401	
①旅費・交通費	550,000	518,459	△ 31,541	
②通信運搬費	63,000	23,006	△ 39,994	携帯電話使用料、総会委任状等
③雑費	90,000	89,661	△ 339	会議室使用料、振込手数料等
④支払い使用料	41,000	50,473	9,473	事務所使用料、インターネット経理使用料
(3) 予備費	50,000	39,357	△ 10,643	
<b>2. 当期支出合計</b>	<b>2,962,000</b>	<b>2,821,165</b>	<b>△ 140,835</b>	
<b>III. 当期収支差額 (1 - 2)</b>	<b>△ 6,000</b>	<b>140,703</b>	<b>146,703</b>	
(1) 前期繰越金	1,870,479	1,870,479	0	
(2) 事業拡張準備金へ繰入				
<b>次期繰越収支差額 (III + 1 - 2)</b>	<b>1,864,479</b>	<b>2,011,182</b>	<b>146,703</b>	

上記監査の結果、いずれも正確であることを認めます。

平成 30 年 4 月 8 日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査会

監事 山科 滋雄 印

監事 肥後 信彦 印

監事 馬場 章介 印

# 平成 29 年度 特定非営利活動に係る事業の会計 貸借対照表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	金 額		
1. 資産の部			
(1) 流動資産			
現金	0		
普通預金	11,565		
郵便貯金	1,406,331		
郵便振替口座			
定額貯金	3,848,336		
前払金	1,300,000		
流動資産合計		<u>6,566,232</u>	
資産合計			<u>6,566,232</u>
2. 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	10,050		
前受金	2,145,000		
預かり金	0		
流動負債合計		<u>2,155,050</u>	
3. 正味財産の部			
基本金	300,000		
事業拡張準備金	2,100,000		
次期繰越金	2,011,182		
正味財産合計		<u>4,411,182</u>	
負債及び正味財産合計			<u>6,566,232</u>

上記監査の結果、いずれも正確であることを認めます。

平成 30 年 4 月 8 日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査会

監事 山科 滋雄 印

監事 肥後 信彦 印

監事 馬場 章介 印



## 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人南国暮らしの会の平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）における監事監査に関し、監査の方法及びその結果について協議し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

### 1. 監事の監査方法の概要

監事会は予め定めた監査の方針等に従い、理事会その他重要会議に出席し、理事会の運営、理事の業務執行、事業活動及び財産の状況を調査し、必要に応じて理事等から報告を求めました。

### 2. 監査の結果

- ①事業報告書・役員名簿・社員名簿は、法令及び定款に従い、法人の活動状況を適格かつ適正に示していることを確認しました。
- ②計算書類（収支計算書・貸借対照表・財産目録）は、記載すべき事項を正しく示しており、正確かつ適正であることを確認しました。
- ③理事その他役員の職務遂行に関する不正行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

平成 30 年 4 月 8 日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

監事 山科 滋雄

監事 肥後 信彦

監事 馬場 章介

# 平成 30 年度事業計画書（案）

（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日）

## 1. 事業の方針

- 1) 会報事業は、年 2 回（新年号、春季号）の発行とする。（会報部会）
- 2) 広報活動を活発に行い、南国暮らしの会の活動や認知度をあげ、新規会員を増やす。（広報部会）
- 3) 友好団体との交流を深め、情報交換をし合い、お互いの会の発展を図る。（広報部会）
- 4) 更なる「南国暮らしの会掲示板（BBS）」と「南国 ML」の健全な普及啓蒙を目指す。（ネット部会）
- 5) HP の一層のレベルアップを推進し、対外的に「南国暮らしの会」を広く PR するとともに会員のための情報提供に役立つようにする。（ネット部会）
- 6) 会報を「南国暮らしの会」の HP にも掲載し、HP による閲覧を推進する。（ネット部会）
- 7) 入会希望者に各支部のサロン会にゲスト参加をして頂くよう推奨する。（会員部会）
- 8) 国内外支部と連携を密にし、会員のための会運営を推進する。（支部推進委員会）
- 9) 支部の組織化・活性化を更に推進し、各支部がサロン会を軸に情報交換会、講演会などを開催し、会員相互の親睦と研鑽を深める。（支部推進委員会）
- 10) 上記サロン会等のみならず、同好会活動を通じて、会員間の一層の親睦を図る。更にパソコン教室等を開催して LS に必要な技量アップを図る（パソコン教室、各同好会など）。
- 11) 「南国暮らしの会」及び各支部で行う旅行会、下見ツアー等に対し、基本的に会員各自の自己責任であることを周知徹底する。（総務部会・支部長会）
- 12) 創立 20 周年（平成 31 年度）記念行事の準備委員会（特別委員会）
- 13) 海外でのロングステイを全う後、高齢者や障がい者等の介護・療養に関する情報の収集や調査研究を行う。（特別委員会）

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時	実施内容	備考
1. リタイア後、南の国々での居住推進活動	情報交換し、ロングステイを楽しむ	随時	国内外支部	広報部会、会員部会 各支部
2. 高齢者、障害者等の為の介護・療養に関する情報収集、調査研究活動	対外情報の一括管理	常時	HP の運用	広報部会 HP 委員会 特別委員会
3. 体験滞在、旅行会等の情報提供	国内外支部、定例サロン会	常時	国内支部実施 国外支部実施	国内外支部定例実施 会報部会、会員部会 広報部会
4. 南の国々の風俗、習慣、国民性、生活環境等の情報収集、調査研究活動	国内外の情報の一括管理、提供し、HP の適時更新・運営の実施	常時	HP の活用 ML、BBS の適正運用	HP 委員会 ネット委員会
5. 南の国々の暮らしに関する講演会、講習会、研究会等の主催	国内外支部定例サロン会、総会開催時に講師を招き実施	定例化	国内支部随時 総会開催時	国内 6 支部、海外 9 支部にて開催し、年 1 回総会開催時に実施
6. 南の国々の暮らしに関して内外の学校・研究所・医療機関等の団体と連絡・協力し、資料・情報の交換	友好団体と交流し、情報交換を理事各位で図り、その情報開示を定例理事会で確認	友好団体とは、随時理事会は、定例会	同業団体 政府観光協会	国内外各支部長 担当部会 各理事
7. 会報、案内書、報告書等の作成と配布	会報発行（新年号、春季号）。年 2 回継続発行「入会へのお誘い」の発行	定例化	全会員へ配布 新入会員、入会希望者への送付	会報部会、会員部会
8. 各項に関連する事業の情報収集、保管、開示、広報活動	HP で閲覧推進	随時	随時閲覧可能	会報委員会 ネット委員会 HP 委員会

## 3. 収益事業：なし。

# 平成 30 年度特定非営利活動に係わる会計収支予算（案）

（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

（単位：円）

科 目	前年度 予算額 (A)	本年度 予算額 (B)	差異 (B - A)	摘 要
<b>I. 収入の部</b>				
(1) 入会金収入	220,000	225,000	5,000	新規入会 45 名想定
(2) 会費収入	2,690,000	2,600,000	△ 90,000	会員数 520 名想定（継続 + 新規 + 賛助）
(3) 資料売収入	46,000	45,000	△ 1,000	
(4) 寄付金収入	0	0	0	
(5) 基本金等利息収入	0	0	0	
(6) 雑収入	0	0	0	
<b>1. 当期収入合計</b>	<b>2,956,000</b>	<b>2,870,000</b>	<b>△ 86,000</b>	
<b>2. 前期繰越</b>	<b>1,870,479</b>	<b>2,011,182</b>	<b>140,703</b>	前年、当年度決算での繰越額
<b>3. 収入合計</b>	<b>4,826,479</b>	<b>4,881,182</b>	<b>54,703</b>	1. + 2.
<b>II. 支出の部</b>				
(1) 事業費	2,168,000	1,800,000	△ 368,000	
① 会報等事業費	1,040,000	760,000	△ 280,000	年 2 回発行会報製作費、会報委員会
② 会報等送料費	280,000	190,000	△ 90,000	メール便、海外送料費
③ 資料等製作事業費	78,000	70,000	△ 8,000	入会者向け資料、会員証、送料代等
④ 報告書等製作事業費	70,000	80,000	10,000	会員名簿
⑤ 広報活動事業費	350,000	350,000	0	LS 財団会費、LS フェア、プロバイダー
⑥ 支部関係事業費	350,000	350,000	0	支部補助金等（明細は事業報告書にあり）
(2) 管理費	744,000	744,000	0	
① 旅費・交通費	550,000	550,000	0	理事会等交通費、その他行動費
② 通信運搬費	63,000	63,000	0	南の会携帯電話、総会委任状
③ 雑費	90,000	90,000	0	理事会会場費、コピー、事務用品
④ 支払い使用料	41,000	41,000	0	ネット会計、事務所使用料
(3) 予備費	50,000	50,000	0	
<b>4. 当期支出合計</b>	<b>2,962,000</b>	<b>2,594,000</b>	<b>△ 368,000</b>	(1) + (2) + (3)
<b>5. 当期収支差額</b>	<b>△ 6,000</b>	<b>276,000</b>	<b>282,000</b>	1. - 4.
<b>6. 次期繰越収支差額</b>	<b>1,864,479</b>	<b>2,287,182</b>	<b>422,703</b>	3. - 4.

# 南国暮らしの会 定款改定案

## 現行定款

### 特定非営利活動法人 南国暮らしの会 定款

(目的)

第3条 この法人は、ボランティアスピリットに則り、わが国のリタイアリー（退職者等）が、暖かい南の国々（わが国のリタイアリーを歓迎してくれる南の国々…以下「南の国々」という。…）において、年金等で豊かな老後の生活を楽しむ、

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動にかかわる事業として、次の事業を行う。

- 1 リタイア後、南の国々に居住することを推進していく活動。
- 2 高齢者、障害者等のための介護・療養に関する情報の収集、調査研究及び活動。
- 3 体験滞在、旅行会等の情報提供活動。
- 4 南の国々の風俗、慣習、国民性、生活環境等に関する情報の収集、調査研究活動。
- 5 南の国々の暮らしに関する講演会、講習会、研究会等を主催する。
- 6 南の国々の暮らしに関し内外の学校・研究所・医療機関等の団体と連絡・協力し、資料・情報の交換を行う。
- 7 この法人の会報、案内書、報告等を作成し、配布する。
- 8 これら各号に関連する事業、及びこれらに関連する事業の情報を収集し、保管し、開示し、更に広報活動を行う。

## 第3章 役員

(種別及び定数)

第13条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20人以内。

## 定款改定【案】-1 2018年4月8日

### 特定非営利活動法人 南国暮らしの会 定款 変更部分

(目的)

第3条 この法人は、ボランティアスピリットに則り、わが国のリタイアリー（退職者等）が、暖かい南の国々等（わが国のリタイアリーを歓迎してくれる南の国々等）において、年金等で豊かな老後の生活を楽しむ、

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

- 1 リタイア後、南の国々等に居住することを推進していく活動
- 2 高齢者、障害者等のための介護・療養に関する情報の収集、調査研究及び情報提供活動
- 3 体験滞在、旅行会等の情報提供活動
- 4 南の国々等の風俗、慣習、国民性、生活環境等に関する情報の収集、調査研究活動
- 5 南の国々等の暮らしに関する講演会、講習会、研究会等の主催
- 6 南の国々等の暮らしに関し内外の学校・研究所・医療機関等の団体との連絡・協力による資料・情報の交換
- 7 この法人の会報、案内書、報告等の作成及び配布
- 8 これら各項に関連する事業、及びこれらに関連する事業の情報の収集、保管、開示、広報活動の実施

## 第3章 役員

(種別及び定数)

第13条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上 20人以内

(2) 監事 3人以内。

(職務)

第15条

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

(総会の権能)

第22条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更。
- (2) 解散及び合併。
- (3) 事業計画及び収支予算並びにその変更。
- (4) 事業報告及び収支決算。
- (5) 役員を選任。
- (6) 入会金及び会費の額
- (7) 借入金（その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第49条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄。
- (8) 事務局の組織及び運営
- (9) その他ため運営に関する重要事項。

(総会の招集)

第24条 総会は、

3 総会を招集する場合には、会議日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

## 第7章 定款の変更、解散及び合併

(残余財産の帰属)

第52条 この法人が解散（合併または破産による解散を除く）したときに残存する財産は、日本赤十字社に譲渡するものとする。

(2) 監事 1人以上 3人以内

(職務)

第15条

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

(総会の権能)

第22条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散及び合併
- (3) 事業計画及び予算並びにその変更
- (4) 事業報告及び決算
- (5) 役員を選任
- (6) 入会金及び会費の額
- (7) 借入金（その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。第49条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (8) 事務局の組織及び運営
- (9) その他運営に関する重要事項
- (10) 資産管理の方法
- (11) 残余財産の帰属
- (12) 役員の職務
- (13) 会員の除名

(総会の招集)

第24条 総会は、

3 総会を招集する場合には、会議日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

## 第7章 定款の変更、解散及び合併

(残余財産の帰属)

第52条 この法人が解散（合併または破産による解散を除く）したときに残存する財産は、特定非営利活動促進法第11条第3項に掲げるもののうち、総会において議決したものに譲渡するものとする。

# 会員からの投稿1 フィリピン特集

寄稿文

## フィリピンの概要、観光、ロングステイ、リタイアメント —もっと楽しいフィリピン—

フィリピン観光省 セクション チーフ 横山 泰彦

### ●概要

2016年フィリピンへの日本人渡航者数は初めて50万人を超え、535,238人を記録しました。また、2017年も10月までの累計で対前年比9.38%増、年間総計では60万人弱と推計されます。

訪日フィリピン人も増加傾向にあり、2016年は347,800人、2017年は11月までの累計で22.5%増ですので、年間トータルでは42万人台を見込まれています。(1月現在)

このようにツーウェイで両者の渡航者拡大基調にあるので、新規航空会社の就航、増便、航空機材の大型化などで、低価格、サービスの向上など、より日比間の渡航がし易くなる正のスパイラル状況です。

フィリピンは2015年に人口が1億人を超え、なお毎年2%増で、周辺のアジア諸国と比較しても中心年齢は23歳と若く生産年齢層も厚いのが特徴です。

2010年就任したアキノ前大統領時代より、積極的な投資誘致や政府の効率性が高まったことなどから、国内企業、また、海外からの投資も増加しています。

過去、政治、経済の不安定や治安、自然災害などが指摘されていたフィリピンですが、近年高い経済成長でGDPも6%前後で推移しています。

また、フィリピンでは、人口の割が海外で働き、年間3兆円もの外国送金を受けているので、外貨が潤沢で国内消費力も高いためフィリピンの経済成長を足元から支えています。

一方、フィリピン国内においては急激な経済発展とインフラ整備の遅れに伴う渋滞が、マニラや

セブの一部でも頻繁におこり、観光客、ビジネスの移動に多大な影響を与えています。



セブ マクタン国際空港完成予想図



ボホール国際空港完成予想図

### ●ロングステイ、リタイアメント

ロングステイ財団が毎年行っている「ロングステイ調査統計2016」の海外ロングステイ希望国、地域では、フィリピンが2014年の9位から、2015年の5位にランクアップしています。

この調査のトレンドによれば、東南アジア諸国の経済成長に伴い、幅広い所得層に受け入れられる基盤が整ってきているため、従来の年金を基本に節約しながらロングステイを楽しんでいるミドル層にとどまらず、日本での生活以上の高付加価値な生活を楽しみたいアッパーミドル層や、不動産投資や資産運用をしながらロングステイを楽しむアッパー層へと人気広がっているとの指摘には同意します。

実際、最近の問い合わせにはその様なものが多く、フィリピン退職庁が提供する特別居住退職

ビザの資格要件が35歳以上のため、年齢に達すると不動産投資と子供の教育の為に移住または、ロングステイする家族も多数います。

特別居住退職ビザの取得者数は2017年で約50,000人、日本人の取得者数は中国、韓国、台湾、インドに次いで5位の3,500人です。1986年より始まったプログラムですので、年間100名程度の申請者数になります。

ビザの申請はフィリピンに渡り、フィリピン退職庁に直接申請しなければならないのですが、現状1カ月ほど掛かるのが問題視されていて、退職庁も入国管理局と申請期間短縮の為に調整をされているようです。

### ●フィリピンでの介護、医療

フィリピンはまだ大家族が主流で、介護なども自宅で家族が面倒みるケースが多く、日本の様な介護老人ホームなどはほとんど必要とされていません。ただ海外での就業の為に介護士養成学校などはあります。実際、2008年に発効された日比経済連携協定によりフィリピン人の看護師、介護福祉士がこれまで1,906名が来日しています。ただ、看護師は3年以内、介護福祉士は4年以内に資格取得できなければ帰国しなければならないのですが、試験も難しく多くが帰国している状況です。日本語が出来て、日本の施設での経験豊富な貴重な人材がフィリピン国内での医療施設などで活躍していただければ、どれだけ訪比する日本人にとって心強いと思われるか。

国際医療評価機関が勧めるグローバルスタンダードとして認識されている、JCI認証のある最新医療設備の整っている大病院から庶民の利用する病院などもフィリピン全土に備わっています。言葉の問題などで困ったときにはJHD（ジャパニーズヘルプデスク）がアシストをしてくれます。（サイト参照 <https://www.j-helpdesk.jp/>）

### ●フィリピンでの英語留学

フィリピン英語留学の特徴は、ワンオンワン（個人指導）授業が主流の為、生徒のレベルに合わせて、身に着きたい課題に沿った授業が出来ることです。これは人件費が安いのでフィリピンで

のみ可能なモデルでしょう。また、1週間からの短期留学ができ、しかも授業料、滞在費も安いので気軽に体験することができます。フィリピン人の先生も大卒で、英語を教える資格を取得している方が大半です。

フィリピンでの英語留学は、20年ほど前より毎年多くの韓国人がフィリピンに渡り英語学習を初めて以来、様々な国の人が利用しています。中国、台湾、タイ、ベトナム、ロシア、ヨーロッパから、また日本人も2010年頃から急激に増えています。

主流は大学生ですが、最近は私立の中学、高校での校内募集の英語研修先として人気があり、年間100件を超える学校が利用しています。特に2020年の大学入試において英語の試験が、“書く、読む、話す、聞く”の4技能が必要とされるため、また小学校3年生からの英語が始まるので親子留学も問い合わせが増えています。

また、2020年の東京オリンピックに向けて訪日外国人も増加傾向にありますが、直接対応するホテル、旅館、民泊関係者、タクシードライバーなど多種多様な企業がフィリピンに従業員を送って英語取得と異文化交流をしています。

その他にもキャリアアップ志向の社会人、英語の先生、退職者など様々な方が、それぞれの目的を持って学ばれています。

### ●2018年の推奨フィリピン観光地

7,107の島々からなるフィリピンの主要な観光地は、首都のマニラ、リゾート地として有名なセブ、4kmの白砂ビーチで有名なボラカイ、多くのリゾートが点在するパラワン、多くのダイバーが訪問するボホールなどです。

マニラでは第3空港ターミナル前の統合型リゾート“リゾートワールド”で、建設中のホテルオクラがオープン予定。また、ベイエリアでは日系の統合型リゾート“オカダホテル”がグランドオープンします。

セブではホテル、リゾートの建設もありますが、国際空港ターミナルオープンで観光客にとってもより便利になるでしょう。

ボラカイでは、隣接のカティ克蘭空港の新ター

ミナルがオープン予定です。

ボホールでは、日本の企業により国際空港の建設が進められていて、9月には開港予定で、日本からのチャーター便なども計画されています。



ボラカイの4km続く白砂ビーチ



ボホールのチョコレートヒルズ



マニラのサンチャゴ要塞



マニラのイントラムロス地区

## ●フィリピンでのお勧め体験

フィリピンで是非体験いただきたいのはスパ、マッサージです。ホテル、リゾート内にもありますが、街スパと呼ばれる現地の方も利用する施設では格安で質の良いマッサージを受けることができます。

特にヒロットマッサージは、フィリピンの伝統的なマッサージ療法で、バージンココナッツオイルを使用して揉み解して血流を整えるものです。

また、スペイン、中国、日本など各国の影響を受けながら、独自に進化してきたフィリピン料理は、最近海外からも注目されていて、辛味よりも酸味を効かせた食事が多く、日本人の口にも合いますので、旅先の名物料理含め是非堪能してください。

4月にはマドリッドフュージョンマニラという食の祭典がマニラで開催され、世界中の有名シェフも参加しフィリピンの食材を使用した様々な料理が提供されます。

マンゴー、バナナ、パイナップル、パパイヤなどのトロピカルフルーツも現地で完熟したものは格別ですので、是非ご賞味ください。

日本人の渡航者は30日以内の滞在にビザは必要なく、延長も現地の入国管理局で可能ですので、アジアのラテンとも呼ばれ明るい性格のフィリピン人ともふれあい、“もっと楽しいフィリピン”を体験してください。

マブハイ



フルーツマーケット



## 北ルソンの旅

バギオ・パンガシナン支部 No.227 斉木 一

北ルソン、今高速道路の延伸中です。2017年12月にパンガシナン州ポソロピオまで開通し、あとは1区間を待つだけになりました。2019年には全線開通の予定です。バギオまでがずいぶん早くなります。今でも結構早くなったのでマニラからの航空路線廃止です。鉄道はないのでバス便だけです。

2019年の開通までにと、周辺では道路工事がたくさん見られ、渋滞も発生しています。バギオ周辺では、登山道路が大渋滞です。フィリピンの旅行業者も開通までは北ルソンの商品開発を

手控えているように見えます。今北ルソンを旅しているのは、学生たちが中心です。

バギオ周辺も道路工事が原因の渋滞がたくさん見られます。北ルソンの旅は高速道路の全線開通後がいいでしょう。マニラ周辺も今高架鉄道の間引き運転が問題になっていて、通勤通学にも影響が出ています。復旧には時間が掛かりそうです。

バギオ周辺の北ルソンには観光や滞在に適した場所がたくさんあります。いずれ紹介するのが楽しみです。それまでしばらくお待ちください。

## ダバオと私

関東甲信越支部 No.1032 瀧川 清人

私がダバオに通うようになったのは、今から21年前の1996年からです。そのきっかけは、ある奉仕団体に加入したところ、そこにダバオで生まれ育った方がいらっしゃったのです。「？」と思われましたか。昔ダバオは船の錨を縛るマニラ麻やラワン材の輸出港だったため日本人が多数居住し、日本人街を形成していたそうです（詳しくはカリナンにある歴史資料館をご覧ください）。その方は、亡くなった父親と同年でしたので、勝手に親近感を持っていました。その方は生まれ故郷に恩返しをしたいと、日本フィリピンボランティア協会（調布市、現在はNPO法人となっている）を設立されました。その方の影響でダバオに通い始めたのです。当時、ダバオの空港は木造で大きなプロペラのような扇風機がまわっているだけで、街中に行く道には外灯もなく、また車の数も少ないので真っ暗闇でした。

ジブニーは4ペソ（8円）、タクシーはエアコン付とエアコン無があり、初乗り「付」は26ペソ（52円）、「無」は23ペソ（46円）程だったと記憶しています。現在はジブニー8ペソ（20円）、タクシーは全てエアコン付で、40ペソ（100円）

になっています。

以後毎年1、2回、短期で通っています。今では空港から街中までは信号もある、渋滞もあるという状態です。またショッピングモールにも人があふれています。荒地がどんどん開発されて行く様子を見るにつけ、ダバオの発展を喜ばしく思っています。

さて、私に大きな影響を与えた方の奥様が亡くなり、その遺産でミンダナオ国際大学（略してMKD）を設立されました。MKDには、成績は良いけれども学費がまかないきれない学生のために奨学金制度（里親制度）がありました。私も何か力になりたいと考え、里親になろうかな〜〜と思いました。ただ、4年間支え続ける自信がなく、もしも私がギブアップしてしまえばその里子は大学に通えなくなってしまうのではないかと思ったので、MKDに6月の始業の直前まで里親の決まらない女子がいたら声をかけてください、とお願いをしていました。その時紹介されたのがアイリーンでした。私はどんな学生か詳しく尋ねることもなく、これも縁だと感じ無条件で里親になることを決めました。

里親は里子の学費と寮費とを負担するもので、月1、2回飲みに行くのを控えればいいや、というノリで始めました。アイリーンは元々優秀だったのですが、努力もして4年間ほぼトップクラスを維持しました。日本の国際留学生試験にも合格したのですが、何故かどこにも派遣されませんでした。落胆しているアイリーンを見てかわいそうになり、私が招聘することにしました。アイリーンは日本に来て、読み・書きに加え話すことがとても上手になりました。今は日本の企業に入るべく就活に力を入れています。私はアイリーンがこのまま日本に居続けられることを望んでいます。

ちなみに現在 MKD では私の時のような里親制度ではなく、一口3万円でファンドを形成し学費をまかないきれない学生に援助をしています。学生からは毎月手紙（たまに写真も）が来ます。日々成長し、日本を好きになっていく学生をみるのも楽しみです。

次に現在、日本留学中のアイリーンの目から見たフィリピンと日本の生活、文化の違いなど感じた事を書いていただきました。

## 寄稿文

### フィリピン、私が生まれたところ 留学生 ボロ・アイリーン

私はボロ・アイリーンです。フィリピンで生まれました。フィリピンは日本の南に位置して、成田空港からニノイ・アキノ国際空港まで約4時間で行くことができます。2017年に私はダバオでのミンダナオ国際大学を卒業して、現在亜細亜大学で勉強しています。フィリピン人の生活やフィリピンの文化などについて記したいと思います。

#### ●教育制度と英語力

私は21歳で大学を卒業したことを日本人に話したとき、彼らはとても驚きました。2012年までのフィリピンは小学校が6年間、高校が4年間の6-4制で、その後の大学は4年間通います。日本と他の国々を比べると、小、中学校が2年間少ないです。つまり、フィリピン人は17歳で大学に行くのが普通です。他の国の学生より早

いです。しかし、2012年より幼稚園2年間、小学校6年間、中学校4年間、そして高校2年間となりました。これら幼稚園から高校までの教育のことを「K-12制」と言います。しかし、K-12制が実施される前から、教室不足、教師不足、教科書不足などの問題が常に起こっていました。私が高校に通っていた頃、教室がないため、私たちは、デイクラスとナイトクラスの2つのグループに分けられました。デイクラスは7時半から12時まで勉強して、ナイトクラスは13時から19時まで勉強しました。それにもかかわらず、K-12制度で学んだ学生は、以前の教育制度の学生に比べて教育の質がより高いことは明らかです。

フィリピンでは英語教育に幼児段階から力を入れており、公用語の一つとして学校で教えられています。英語は①大学の理数系の授業②ビジネス③メディアなど様々な場面で使われています。ピナロク・ジョエルの2008年の記事によると、英語を読み書きでき、また話すことができるフィリピン人は46%、英語を読んで理解することができるが話すことができないフィリピン人は46%、英語を読み書きできず、話すこともできないフィリピン人は8%です。



ハゴノイ高校ダバオデルスル

#### ●フィリピン人にとって必要不可欠な存在

フィリピン人の家族の日常生活は、母親は早起きして朝食を準備し、子供たちを学校に送り、父親もまた仕事のために早起きします。私の家族は、サリサリストアを営んでいるので、日中家にいなければなりません。サリサリストアとは日本でいうコン

ビニのようなお店で、米、肉などの食料品から、歯ブラシ、洗剤などの日用品、タバコなどの嗜好品まで様々な商品を販売しています。現在、サリサリストアはフィリピンに約100万店も存在しています。フィリピンの町を歩いていると、すぐにサリサリストアを見つけることができます。ほとんどのサリサリストアは自宅経営なので、テレビや冷蔵庫、店に関係ない個人私物もよく見かけます。サリサリストアの営業時間は家族によって異なります。私の母と父は朝4時半に起きて色々な準備をして5時に店を開けます。放課後や週末など、父と母が休みを取っている間は、私と兄弟が代わりに店の手伝いをします。

### ●物価

私は日本で1年間勉強をしたことで、日本とフィリピンを比較することで、自分の国には何が足りないのか、また、自分の国は何が優れているのかを理解することができました。比較して分かったことは、フィリピンの生活費が非常に安いことです。日本の水のペットボトル1本の値段は100円以上、フィリピンの通貨ペソに換算すると47ペソ以上です。47ペソでは、ご飯、おかず、飲み物の3点を買うことができます。つまり、日本の水3本の値段で、フィリピンの朝食、昼食、夕食を済ませることができてしまうのです。交通費も非常に安いです。私の故郷ダバオ市では、私はいつもジープで登校していました。私の家から学校までの平均交通費は14ペソつまり31円です。しかし、物価は低いです、それに伴い従業員の給料も低いです。



サリサリストア



サリサリストアを開ける前の準備

### ●フィリピンタイム

現在、私たちはすべてが時間によって支配される世界に住んでいます。先進国の人々は時間を守らなければいけません。しかし、フィリピンは異なります。フィリピン人は、時間に対して厳格ではなく、とても柔軟に対応します。フィリピンの公共交通機関のジープ、バスには、時刻表は存在せず、満員になったら発車するスタイルです。マニラの地下鉄にも同様に時刻表はありません。結果として、フィリピン人は時間を意識しなくなっており、多くのフィリピン人は時間厳守という意識がありません。例えば、待ち合わせ時間は9時なのに、2時間遅れで来る人がいます。これは「フィリピンタイム」として知られています。このことは、遅れが許されるフィリピン文化の1つとなっています。ポジティブに捉えれば、厳しいスケジュールから逸脱してリラックスしたい外国人にとって、フィリピンでのんびり暮らせる理由にもなります。遅れの許容範囲は、場面によって異なります。ビジネスの場面より、友人間の方が許容されます。この意識がフィリピンの航空会社の遅延便の多さに繋がっています。

このことから、政府は時間を守れない人々をなくすための対策をしています。しかし、古い習慣を変えようとするのは難しいことです。これはフィリピン人が必ずしも怠け者であるということではありません。フィリピン人は非常に勤勉な人々が多く、変化する環境に容易に適応することができます。したがって、時間厳守が重要な位置付けになった場合、フィリピン人は容易に適応することができ

ます。



ディゴス市バスターミナル



ダバオ市の渋滞

## ●世界で一番長いクリスマス

フィリピンでは、9月から1月6日まで祭りの雰囲気が見られます。9月初旬からイルミネーションやカラフルな装飾などが街頭に並び、スーパーではクリスマス・ソングが流れ始め、子供と大人が家々を訪ねて、クリスマス・キャロルを歌う習慣があり、これを「キャロリング」といいます。スペインの影響と90%がクリスチャンの影響により世界で最も長いクリスマスシーズンでを過ごします。

クリスマスの最も重要な伝統の一つがシンバンガビです。12月16日から25日まで真夜中のシンバンガビという行事が始まります。16日からフィ

リピン人は夜の9時に眠り、朝3時に起きて教会に行き、シンバンガビは朝4時から始まります。9日間通い続けると、願い事が叶うと言われています。行事が終わってから教会を出ると、伝統的なフィリピン料理の屋台が並んでいます。

フィリピン人は強い家族関係を重んじ、クリスマスシーズンにはこれが顕著に表れます。海外で働いているフィリピン人のほとんどはクリスマスの期間は家に帰ります。お祝いで最も盛り上がるころはクリスマスイブに家族と一緒に食事をする事です。これをNoche Buenaと言います。Queso de bola（チーズのボール）と甘いハムが食事によく上がります。深夜12時になると、家族はプレゼントの交換をします。フィリピン人にとってクリスマスが子供のためのお祝いと考えているので、子供たちには最も良いプレゼントが贈られます。クリスマスは、家族や祖父母、親戚と再会する日です。フィリピン人にとってクリスマスは子供たちにプレゼントを贈ったり、イエス・キリストの誕生をお祝いする日だけではないのです。家族や友人と一緒にあって、お互いを助け、お互いを許し、貧しい人と祝福を分かち合う日なのです。



Noche Buena

寄稿文

## 介護人材(人財)を求め ダバオへ

日本語教師 牧野 利通

「外国人技能実習制度」への介護職種の追加等ということで、2017年9月29日付で、厚労大臣名による告示文が出されました。いよいよ介護技能実習制度を使って、フィリピンから日本へ渡って仕事をする事が可能になりました。私

の関係する介護関係で日本へ来て仕事をするには、以前はEPA（経済連携協定）の制度で日本へ行くか、日本の介護専門学校へ入学し、そこで2年間勉強し、卒業することが条件でした。今回追加された制度は、日本における介護人材

不足に対応したもので、やっとのことでこの制度のルールがひかれました。

「高齢化」「高齢化率」「高齢社会」などという言葉が使われ始めてもう何年が経つのでしょうか。近い将来に備えるためということで、社会福祉士及び介護福祉士法の制定、介護の専門家を育てるべく介護福祉専門学校もでき、着々と高齢者介護に対する手を打ってきました。また、2000年には介護保険制度が導入され、介護支援計画を立てる介護支援専門員の養成も行われました。しかしそれだけでは介護人材不足は追いつかず、今や乱立気味の介護関連施設で、介護職員の募集をしており、介護職員不足に拍車をかけています。

このような中、私どもの法人では、以前からEPA制度による外国人を介護職として受け入れてきた実績もあり、十分やっていけるという確信の元に、海外に介護職を求めてきました。その一環で、私もここダバオで日本語を教えるということになったわけです。日本人ならだれでも日本語を教えることはできると思っていましたが、外国人が日本へ渡って、介護職として働くには、「日本語能力試験」で一定の資格を取らせなければなりません。そのため、私は日本にいる間に「日本語教師養成講座」を受け、それなりの資格を得てからダバオに来ました。

ダバオってどこにあるんだろう？ フィリピン？ 今まで外国旅行はフランス・イタリア・オーストラリア・台湾・中国・ベトナム等々ありますが、私の頭の中に、観光や仕事で行ってみようという国の中にフィリピンはありませんでした。法人から、ダバオに行ったら日本語を教えるようにと言われてから、急いでフィリピンのガイドブックを購入し、出発の準備。その間、1か月もなかったような記憶がありません。私自身は今までも「何とかなるだろう」というような楽天的？ よく考えない？ ところがあり、今回もそんな調子の旅立ちでした。

2015年8月10日、私ども法人のプログラムの開校式をダバオにある大学で行いました。第1期生22名と初めて対面、年齢は20代～30代

と幅が広く、女性に交じり男性も2名いました。いよいよ日本語教師として第1歩が始まりました。午前中の開校式を終え、午後には、私どものプログラムの学生と、授業の中で向き合う第一歩でした。一人ひとりの顔を見ると、どの学生も目をキラキラ輝かせ、意欲に満ち満ちた顔つきをしていました。この顔を見ていると、自分自身もこの学生たち全員を日本へ連れていきたい、という気持ちが大きく膨らんできました。



日本語学校 1期生

学生は、イロイロ島出身者5名を含め男性2名、女性20名となっており、看護師資格かケアギバーの資格を持っている者ばかりです。しかし、実際に病院等で働いた経験を持つてはいますが、日本語についてはほとんど初心者ばかりでした。まずは、12月6日のJLPT（日本語能力検定試験N4）合格に向け、一からの日本語指導のスタートになりました。大学で使用している教科書を主教材に「みんなの日本語」も参考にしながらの指導、教材研究にかなりの時間がかかりましたが、指導者同士互いに励まし合いながら、進めて来ました。1年でN3取得を目指すといっても、他に手本はなく、手探り状態の連続で、メンバーで何度もミーティングを行い、教材や授業方法について議論を重ねたり、互いの授業を見せ合ったりと苦勞の連続でした。

10月中旬からは、JLPT対策講座（JLPTは、文字・語彙、文法、読解、聴解の分野があります）に切り替えたり、午後4時の授業終了後、1時間程度のレビュータイムを設けました。また、土曜日の午前中には補講を行い、遅れ気味の学生向けの指導を行ってきました。学生はもちろん、

教える側もかなり疲労の色が見えてきましたが、とにかく12月6日まではがんばろうということ、現地語で、主任の先生から分かりやすく学生に説明してもらい、もう一度モチベーションアップに努めました。

11月からは、文字語彙の宿題を増やしたり、何度も模試を行い、それについてのレビューの繰り返しでした。学生たちは、試験日10日くらい前から、教会詣で（日本でいう神頼み）をしている様子でした。

このように第1期生については、私も周りの先生方も手探り状態でしたが、第2期生、第3期生と年を経るごとに、反省に反省を重ね、教材、指導の仕方も変わってきており、現在に至っておりますが、未だにこれといった確立したものはなく、日々「もっといい方法はないか？」ということを探している状況です。

一方、良い指導を行うためには、①学生たちを理解すること（考え方、感じ方）②私自身の健康に留意する、の2点です。まず、1点目の学生たちを理解するためには、この国で生まれ、どんな暮らしをしているかという生活の様子をつかむことが重要であると考えました。手始めに私自身がすぐにでもできそうなことから始めてみました。まずは食べ物。学生たちの昼食を見てみると、弁当を持ってくるもの、近くのマーケットバスケットで食べる者に分かれました。



日本語学校3期生

弁当の中身はというと、プラスチックの容器にご飯を詰め込み、おかずはほとんど一品のみ、魚か鳥肉の料理で、昨晚の残り物とのこと。ご

飯は、朝炊いたご飯を詰めてきたとのこと。どちらも冷たくなっているのがあたりまえ。マーケットバスケットで食べる学生は、ご飯とおかず一品かせいぜい二品どまり。スプーンとフォークで、ご飯とおかずを混ぜながら食べるのがこちら流。私は混ぜて食べるのが苦手なので、おかずだけ口に運ぶと、醤油辛かったり、しょっぱかったり、油っぽかったりします。混ぜながら食べるのに合わせ(?), 味が濃くなっているのではないかと思いました。このように昼食の話題だけでも学生たちとの話の輪が広がりが場が和んできます。

また、学生たちの大学への交通手段はというと、バイクで来る者2名以外、ジプニーに乗って来るとのこと。これについては、私の住まいが、当初Camella (カメリア) という所にある「Northpoint (ノースポイント)」というコンドミニアムでした。大学まではタクシーで10分くらいという便利な所にあり、大学の方で用意しておいてくれた住まいです。ダバオへ来たのは初めてということで、スタッフの方が、大学への行き方を教えてくれました。日本人だからタクシーで通勤するのではないかと、このコンドミニアムを選んでくれたようです。しかし、私がジプニーで通うと言ったため、ためらいながらも、ジプニーでの大学への行き方を教えてくれました。大学へは、コンドミニアムから、Jeepney (ジプニー) が通っている、JP ローレル (ダバオ市内のメイン道路の一つ) まで坂を下り、「SASA (ササ)」と書いてあるジプニーに乗り、「DAMOSA (ダモサ)」というところで降りるとのこと。早速、翌朝から乗ってみましたが、緊張の連続。目的の場所まで来たので「Lugar lang」と言っても止まらない。仕方なく手すりをコインで叩いたら止まってくれました。発音が悪く通じなかったようです。ある時は10ペソを出してお釣りを待っていたら、そのままになってしまい、そのことを学生に話すと、お釣りをもらう時は「Kambyo 2ペソス」と言うんだよと教えてくれました。このようにジプニーについては、様々な失敗談がありますが、この失敗談を学生に話すと大受け。ジプニーに乗ることで、この国の人たちの生活の一端を

垣間見ることができたり、学生達とのコミュニケーションのネタにもなりました。このように、できるだけ学生たち（ダバオで暮らす人たち）の暮らし方を私自身も体験することで、学生たちのものの見方、考え方、感じ方を理解できるようになりたいと、今も様々なことにトライしています。そして、私が理解したことを日本人の職員に伝えることが、私の使命であるとも考えます。そのことが、この学生たちが日本へ渡って介護の仕事に就いたとき、日本人の職員と上手くやっていける手助けになるのではないかと考えます。

2点目の、自身の健康に留意するということですが、ダバオに初めて来たとき、飛行機の中の、あまりの寒さに風邪をひいてしまいました。また、教室内も冷房がガンガンに効いており、半袖シャツで長時間いると体調を崩してしまいます。そこで常時、上に羽織る洋服を一枚用意しておくようにしました。



コンドミニウム・ノース  
ポイントのプール



市民の交通手段  
ジブニー

また、食べ物については、先に述べた通り、こちらの食べ物は、全般的にしょっぱく、油っぽいということです（あくまでも、私の味覚であり、店によってはこの限りではありません）。このまま食べ続けると健康に良くないと思い、朝食と夕食はできる限り自炊することになりました。コメは、日本のコメとはことなりますが、炊き立てはおいしく食べられます。肉や魚は豊富に出回っており、

野菜は、カボチャやゴーヤ、茄子などの夏野菜は年中手に入ります。大根やニンジン、日本のものに比べ小ぶりです。このような食材を調理し、できるだけ自身の好みの味付けで食べるように努力しています。

そして、運動についても、できるだけ毎日、30分以上歩くよう習慣づけています。毎朝、4時に起き、ストレッチ・体操、そのあとウォーキングに出かけます。このように健康を保つために私が行っていることを話すと、学生たちがびっくりするやら呆れるやら……。

今後も体調管理を十分行い、健康である限り、今の仕事を続けたいという希望を持っています。フィリピン国内の送り出し機関、日本の受け入れ機関も決まり、上手くいけばこの9月から私の育てた学生が日本で働くようになります。3年前に手掛けたことがやっとスタートしますが、この学生たちが介護士として立派に5年間、勤めあげてくれることを願っています。



アグダオ野菜市場



アグダオ肉市場



アグダオ果物市場

## ミンダナオの楽園カリナン

関東甲信越支部 No.1684 加藤 義二

私も1月1日で70歳になりました。フィリピンには20代の後半から遊びに友人と来ていましたが、ほとんどがマニラの滞在でした。

50代後半、私はマニラのダスマリニェアスに住んでいましたが、日本車の排気ガスの規制が厳しくなり、日本国内の規制から外れたディーゼル車がフィリピンに輸入されるようになり、ますます環境が悪化して参りました。

当時は、町の中を散策したりジブニーで移動すると、鼻の穴や顔が黒くなりました。

女性は殆どの方がタオルを持ち、黒煙を吸い込まないよう防護しておりました。

排気ガスと人が多いマニラが嫌になり、一度日本に帰り定年するまで勤めることにし、将来のロングステイの地を選択することにしました。

その間インターネットで検索していたら、年金で暮らせるダバオと書いてある日本人のブログを見つけました。

治安が良く、町もきれい、是非一度行きたいと思い、丁度勤めてた会社を定年退職になりましたので、視察がてら不安でしたがダバオに向かいました。

マニラより南に旅行をしたことがなく、初めて行くダバオではトラブルの連続でした。

マニラからダバオは国内線に乗り換えますが、セブパシフィック航空の搭乗ゲートの変更と時間変更が突然行われました。日本とは違いちょこちょこ変更されるみたいです。

語学が出来ない私は、搭乗するお客様の行動を見ながら動いていましたので、どうにかダバオ空港に到着しました。

ターンテーブルに私の荷物が出てくるのが遅くて最後でした。

早速荷物を取りカートを探しましたが見当たらず職員に頼みましたらチップを要求されたので自分で取りに行きました。

出国ターミナルにはカートはたくさん有りました

が、入国ターミナルには殆ど見当たらず、日本のようなサービスは得られません。

やっと思い描いたダバオ到着です。空港からタクシーで15分、ダモッサ地区にありますベリサリオハイツのカーサマリヤに到着しました。

タクシー料金はメーターで130P (¥320) 位で明朗会計です。ここで3ヶ月お世話になりました。当時料金は1ヶ月朝食付き、洗濯無料で1,200P (¥3,000)。

スタッフの方も親切で、朝食も美味しくいただきました。又多くの日本人方と知り合いになり、ダバオの物価や生活を教えていただきました。

ダモッサにありました日本食レストラン銀閣に度々食事に行きました。料金はカツ丼148P (¥370) 餃子98P (¥245) ざるそば(138P) ラーメン138P (¥345) と比較的low料金でした。残念なことに現在はシェフも変わり経営も他の方に代わっております。

当時、この店の真理谷シェフの味付けは、日本人の旅行者の間では評判でした。

ここで彼との出会いが、現在の生活の出発となりました。

彼に、再びダバオへ来る事を約束をして帰国いたしました。

1か月後にダバオに訪れ、彼のお住まいはカリナンと聞き訪問することになりました。ダバオ市郊外の小さな町で空港から1時間ちょっとの所にあり、タクシー料金は500P (¥1,250) です。

しかし、田舎町で帰り乗車する方が殆どいないので、帰りの運賃を請求されることもあります。

以前JPVA (日本、フィリピンボランティア協会) で、アポ山間僻地の小学校へ医薬品の支援、子供たちにノート、鉛筆、サンダルなど届に行くときに通過していた町でした。

数年前まで、素足、裸で通学する子もいた山の子供たちも現在は、皆さんの協力により、少しずつ貧困の生活も改善されているように見えます。





山岳僻地の貧しい子供達に、ノート、鉛筆を配っています  
しかし、70～80%が貧困と言われてるミンダ  
ナオ島です。12月のクリスマス町には、山から多  
くの人々が着の身着のまま下りてきて、路上生  
活をしながら施しを受けております。

フィリピンが早く経済発展し、人々の生活が向  
上する事を祈ります。

カリナンは車も人も少なく、ダバオ中心部より標  
高が高く気温は2～3℃低く爽やかな気候です。

戦前、船舶用ロープとして耐食性、強度と優  
れていたマニラ麻の生産に2万人の日本人が従  
事し、都市を築いたのがミンタル（民多留）です。  
ここから車で30分位山に入ったところがカリ  
ナンです。

ここなら住んでみようと思い、アパート探しを始  
めましたら、真理谷氏から、「私の敷地に空いて  
いる部屋があるので使って下さい」と有難いお  
言葉をいただき、生活が始まりました。

驚いたことに、数百メートル先に幼稚園から  
大学までの一貫教育の現場がある文教地区で  
す。



戦前の日本人街の建物が残るミンタル



幼稚園から大学までの施設

通学路には民家が数件あるだけで、周りは果  
樹園やジャングルです。学校の正門前で彼は食  
堂を開き、多くの学生達の胃袋を満たしております。



学校の正門前で営む食堂

私の食事も彼が日本食を  
作ってくださいますので、こ  
の上ない幸せです。

食後のデザートは、自宅の  
庭にマンゴーやドリアン、パ  
パイヤ、バナナなど新鮮な果物  
がたわわに実り、これを自由  
に取って食べております。

天気の良いとアポ山麓が  
良く見え、夜空に、満天の  
星が美しい光を投げ、たくさ  
んの蛍が飛んでいます。

素晴らしい環境の中で、  
都会では味わえない贅沢を  
楽しんでおります。



マンゴー



パパイヤ



ドリアン



バナナ

小学校の先生が“外見で人を判断してはいけません”と言われましたが、頭がよくハンサムや美人のクラスメイトはチャホヤされ、当時の私はその言葉の意味が信じることはできませんでした。22歳まで大阪で育ち、就職後いろんな場所に転勤してきました。長いところで4年、短いところで2年という具合で会社に命じられるままに赴任してまいりました。

本人の意思でない場所で生活することは当初戸惑いがありますが、住み慣れると案外新しい友達の出会ひもあり、次の転勤が決定すると別れが寂しく感じたものでした。会社を早期退職しダバオに住み始め、あっという間に10年以上経ちました。生まれ育った大阪に次いで長く住んだ場所です。

在職中から、もし退職後に海外で暮らすなら行き慣れたタイじゃないかと漠然と考えていました。

フィリピンのイメージはというと、殺人がそこらで起こっているとか、ひったくりが頻繁にあるとか、兎に角陰湿で犯罪の巣の様なイメージしかなく論外でした。そんな時に頭によぎったのが小学校の先生の言葉でした。もしかしたらこんなにイメージの悪い国こそ、外から見えない良さがあるかとも思い、ダバオで生活することを決めました。住み始めた頃は、初めての海外生活である事や当初抱いていたイメージもあり、ビクビクしながら暮らしていました。趣味がダイビングで、これにより徐々にフィリピンの友達ができていきました。生活するにあたり不慣れな点や、幾つかの問題が起こった時に助けてくれたのは、日本人の方もいましたがフィリピンの友達が多かった様な気がします。フィリピン人独特のお節介で、いろんなアドバイスをいただき助けてもらいました。また急に“家族旅行に同行しないか?”と友達からお誘いを受け、ワイワイガヤガヤと旅行に同行させてもらった事もあります。

こうしてフィリピンの人と触れ合ううちに徐々にいろんな事がわかってきます。性格面で日本とフィリピンを比較すると、時間にはとにかくルーズで30

分ぐらい待たせるのは当たり前です。お金にも同様に1回しか会ってないのに“お金がないので貸してくれないか”と言ひ、返してもらふ事は稀です。人に道を聞いても知らなくても適当に言ひ、聞いた通りに行くと全く正反対に行くことなんかは常で、何時も何人かに聞かないと目的地には着きません。騒音には鈍感で、近所で夜中まで大音量でカラオケしても平気です。デパートで仕事中でも、従業員同士話してお客さんは二の次です。レストランで従業員に“小皿を持ってきてくれ”と頼んだら最高の笑顔で“イエッサー”と言っても、数秒後にはすっかり忘れて何度か言ひて漸く届く始末です。南国なのに汗臭いのを嫌い、1日に何回もシャツを変えます。車が故障して止まっていると周りからゾロゾロ現れ、“俺の従妹は車に詳しいんだ”とわざわざ連れてきて治してくれる事も1度や2度ではありません。横に座っている人に急に“そのバッグいいね”と言ひても日本なら嫌な顔をされますが、ここではニコニコしながら、これはどこそこで買ったんだと場所を説明して値段まで教えてくれます。みんなでワイワイ騒ぐ事が大好きで、いろんな場所で冗談を言ひては大笑いをしています。お年寄りには優しく、列を作ってみんな待っている時でも、当たりの様に先頭に優先していきます。障害者にも優しく、手助けすることが義務のような日本と違い、まわりのひとが非常に自然にサポートしていきます。子供が大好きで、パーティーで誰かが赤ちゃんを連れてくると“抱かせて抱かせて”とみんな言ひ、最後にはこの子のお母さんは誰と探す始末。子供が騒いでいても寛容で、子供はそれが自然だよと叱りもしません。お米が大好きで、パーティーでご飯がいっぱいあるとニコニコし、それを山盛りにして食べます。

家族思いで、兄弟の学費を稼ぐため何年も休みなしで海外でハードな仕事につき、それを辛い事だと感じず兄弟の幸せが自分の幸せと感じています。あまりのルーズさにイライラしますが、日

本人の社会で到底経験できないフィリピン独特のひとの良さにふれ、時には一緒に大笑いし悲しみに共感し涙をながしたりしながら暮らしています。

長期に海外で暮らして、その国の文化や国民にふれ感動をすることは、日本国内にいて報道のみで他国を判断するのではなく、より深く理解できるといふ点で真の意味でインターナショナルという

事かもわかりません。1回かぎりの人生で全く異なる文化や環境を経験できている事は、まさに“一粒で2度おいしい人生”であり、こんな生活を送ることができるのも、小学校の時の先生の戒めを実践したからかもわかりません。これから先何十年も、ここの楽しい人達とともに生きてこられることを願っています。

## 会員からの投稿2

### 北海道北広島市でちょっと暮らし体験(平成29年8月)

関東甲信越支部 No.1437 金澤 公平・正子

去年の8月に涼しい北海道で過ごすことができました。8月1日から31日まで、北広島市のお試し暮らしができたので報告します。埼玉の我が家から車で行き、フェリーで海を渡りました。

●8月1日 早朝に苫小牧港に到着。湿気がなく清々しい。広い道路を見て、北海道にきた実感が高まります。9時過ぎに北広島市役所へ。綺麗で近代的な役所で、おためし移住体験の手続きをする。係の方から説明を受け、早速1号棟へ。荷物を入れ、スーパーで買い物。疲れて早々に就寝する。

●2日 今日爽やかないい天気。朝は近所の散歩からスタート。北広島市の駅前周辺を歩く。2階に上がるとコンコースが広くて綺麗。昼は埼玉の友人夫婦と、近くの回転寿司「銀次郎」へ。時知らずや貝の刺身、ホタテ稚貝の味噌汁は絶品。北海道の回転寿司は、安くて美味しい。夕方、温泉の「森のゆ」へ。お試し住宅から車で15分。チョコレート色のモール温泉はツルツル。夕食とセットで1,200円。幌加内蕎麦セットを美味しくいただく。さすが日本一の蕎麦。

●3日 午前友人達と長沼町にある「マオイの丘」でパークゴルフをする。涼しくて最高の日和。芝が刈られたばかりか、草のいい匂いがする。

その後、隣接する長沼町営農集団の店で買い物。新鮮で安い。ランチは、友人の希望で昨日行った回転寿司「銀次郎」へ。またもホタテ稚貝の味噌汁をオーダー、出汁が良い。イカ、秋刀魚、サーモン、ウニなどどれも美味しく、友人達も大喜び。夕方、自転車で東光ストアで買い物。関東にない魚もあり見ているだけで楽しい。ヒラメを時間セールで半額でゲット。

●4日 朝、南幌町在住の友人宅へ。一緒にパークゴルフをする。曇り空で風が心地よい。芝も綺麗に手入れされている。お昼をご馳走になり、お喋りを楽しみ、次回また北広島でパークゴルフをする事を約束する。

●5日 午後から駅前に行くと「北広島ふるさと祭り」が行われている。歩行者天国で屋台が



北広島市の市民祭り

建ち並び、大勢の人で賑わっている。特に、広島焼きの所は列を作っている。特設ステージでは、高校生のブラスバンド、チアガールのハツラツとした踊りに元気もらう。市立図書館の横には、雪ダルマもありスノーボードかソリに乗れるので、子ども達が列を作っている。祭り会場では、青年ボランティアが活躍していました。

●6日 夕方、北広島駅前ふるさと祭り会場に、モノマネリストのヒロ青山が来ていた。その歌声はプロらしく迫力が有りトークもうまい。観客達もノリノリ。手拍子を叩きながら一時間楽しませてもらう。

●8日 北広島在住の友人夫婦が来訪してくれた。四人で市内の「良寿司」でランチをする。ランチは江戸前を注文し、サラダ、天ぷら、茶碗蒸し付きで1,080円。ランチ後ドライブに誘っていただき、恵庭市にある「白扇の滝」「三段の滝」など見学する。可愛い子どもの蛇も出迎えてくれ、北海道は自然の宝庫。マイナスイオンをタップリ浴びる。

●9日 昼から文化ホールでロビーコンサートがあると情報を得て、小雨がばらつくもいそいそと出かける。可愛い女性達によるソプラノとピアノのコンサート。生のソプラノは初めて。高音のきれいな声に聞き入る。ピアノも心地よかった。その後、北広島市図書館のAV室でイギリス映画「銃殺」を見る。8月は終戦にあわせ戦争映画の特集。すべて無料で参加させていただく。

●10日 お隣からキュウリをいただく。埼玉在住で1ヵ月滞在することを話し、少し世間話をする。働き者で優しい方でした。さっそく漬物やキュウリモミにする。大きく柔らかく美味しい。午後から、「山根園」でパークゴルフをする。広くて気持ちが良く、上野幌駅がすぐそばで、電車が行きかう所でした。その後は、同じ経営の「森のゆ」でゆっくり汗を流し、ラーメンを食べて大満足で帰る。

●11日 「北広島の戦争遺跡を尋ねて」というツアーに参加する。九条の会の主催でした。昭和11年、島松演習場で昭和天皇を迎え2万人の将兵が南北に別れ、ソ連軍を意識し陸

軍特別大演習が行われる。それを記念し、昭和13年に建てられた祈念碑がありました。旧島松駅通付近の道路沿いにある斜面の下部に、近くの住民により作られた防空壕が3つ残っている。昭和33年、戦争で亡くなった人々を慰霊するため広島神社の忠霊塔が建てられ、戦死者131名の名前が刻まれている。

昭和13年、戦時中の食料増産目的に、国道274号線沿い北側に水田が開かれる。湿地帯だった東部中学から北の里を通る千歳川に至る2.3kmを掘削。排水工事を囚人（青い服を着たアオンボ）にさせたので、アオンボ川と呼ぶ。開拓記念公園の被爆石は、平成8年北広島市誕生を記念し広島市から被爆石が4つ送られてきた。平成8年市誕生を記念し平和と友好を願う市のシンボルとして「平和の灯モニュメント」が建てられる。広島市の平和の灯から空輸され点火されたそう。12時半にツアーを終了。皆さん無事家路につきました。資料や手配に主催者の方には頭が下がります。

●13日 午前中に北広島市図書館へ行き、本を3冊借りる。図書館も大きくて立派です。ランチは「くるるの杜」へ。ランチは1時間待ちと言われるも、周りの景色を見て散歩をして買い物をする、すぐ時間となる。野菜中心のバイキングで、一人1,700円。70歳以上は1,500円。たくさんの野菜料理があり、少しずつプレートにとる。カレー、ミートソース、冷麦、ラーメンなど主食の他、ジュース類やスイーツ類も充実している。どれも上品でいい味。



くるるの杜

● 14日 月曜日、図書館は休みなので、私は昨日借りてきた本を読む。夫は、自転車でエルフィンロードへ。おためし住宅から札幌コンベンションセンターまで約40kmの道のりを4時間弱、ひたすらこいできたようです。緑が多くてとても気持ち良かった、とのこと。



北広島市市民ホール

● 15日 誘い合わせて、お隣のおためし移住体験2にお住まいの方と、きたひろサンパークゴルフ場へ行く。おためし移住暮らしである事を伝えると、快く住民値段300円でOKとなりました。更に65歳以上は、半額の150円。曇り時々晴れでプレイするには最適。

コースは4コースあり山あり谷ありの段差があり、点数が出ず苦しみも、4人でワイワイ楽しむ。地元の方も家族連れで楽しんでいる。

● 16日 午後から、図書館のAV室で映画上映会があり出席。「氷雪の門」と言うタイトル。出席者達は、ほぼシニアです。太平洋戦争が終わろうとする時、樺太西海岸の真岡に突然ソ連軍が侵略を開始。本物の戦車が効果音と共に出るのでドキドキする。終戦になっても起きた悲劇に、やり切れない思いになる。駅を渡り、向いの東光ストアで買い物をしましたが、安心して買い物でき、平和の有難さを感じる。夕方、竹山高原温泉で一汗流しざっぱり、モール温泉でじんわり温まる。

● 18日 友人に誘われてバスツアーに参加。札幌から積丹半島の見学へ。天気にも恵まれ、海の積丹ブルーが素晴らしい。何度も感激の声

を出す。埼玉は、海無し県なので海に憧れがある。名物のウニ丼を頂くと、滑らかなウニでご飯が見えないくらいのもっている。その後、小樽散策へ。「かま栄」で蒲鉾、「田中酒造」で酒粕や梅酒などを購入。田中酒造では、色々なお酒を惜しげもなく味見させてくれる。振る舞いが豪勢で北海道ならではの。



積丹半島

● 19日 夕方、マックスバリュで買い物。とても広く安い。その後、楓楓温泉へ。森の中をしばらく走ると突然高いホテルが現れ、楓楓温泉に到着。ホテルのお風呂がとても綺麗。たくさんの家族連れで賑わっていた。

● 23日 2時から、図書館2階のAV室で映画を観る。

● 25日 午前中、北広島市シルバー人材センターの体操教室に参加。飛び入りの参加なのに、皆さん優しかったです。市のシルバー人材センターは立派な建物で、他にパソコン教室も開催していました。

● 26日 東海支部の方8名、北海道支部の方2名、合計12名で良寿司でランチをする。その後、我々がお借りしているおためし移住住宅の見学にきていただく。3LDKの広さにビックリしていました。駅や図書館にも近く、スーパーも3つあり、温泉もたくさんある事を説明。皆さん羨ましがっている。本当に我々はラッキーです。夕方、『湯処 ほのか』に行く。岩盤浴付きで850円。お風呂は広いし、岩盤浴も温度の違うのが3つあり、休憩所も広い。岩盤浴でじっくり汗を流す。



お試し住宅前で東海支部の方達と

● 27日 午後から、市の芸術文化ホールで北広島ユネスコ協会主催の学習会があり、参加。講座は「世界遺産を学ぶ」“空中都市”マチュピチュ & インカ帝国・ナスカの地上絵・クスコの都市。講師は、北広島市在住の本橋氏。ツアーコンダクターなど多彩な職歴のある研修講師で、内容が濃いものでした。写真や資料は、ペルー大使館からの提供とのことで、どれも一級品。市民もインカ帝国への興味が強く、予想以上の出席に嬉しい悲鳴をあげていました。講師は経験豊富でスムーズに学習会を進め、聞きやすかった。近くで、無料で素晴らしい学習会に参加でき、貴重な学習となりました。

● 28日 サロン会が「すすきの」であり、JR札幌駅から歩いて向かう。その途中に時計台があり、館内を見学でき200円払い中に入るとちょうど三時の鐘が鳴る。時計台は旧札幌農学校演舞場であったことを知る。一階は札幌の歴史、農学校の歴史がわかりやすく写真や現物が展示してある。二階は演舞場と塔時計の仕組みの説明がありボランティアの方が説明してくれる。また、何故「すすきの」ができたかも説明される。花がきれいな大通公園で写真を撮る。途中曲がる角が分からず戸惑っていると、イケメンのお兄さんに声をかけてもらい、無事「すすきの」のサロン会会場に入る。北海道支部と東海支部会員との意見交換ができました。

● 29日 午後から旧島松駅通所に行く。一人200円払うと、係の方が説明してくれる。ここは国指定史跡で、えきていしよ駅通所とは、交通が不便だった

北海道開拓時代に駅舎と人馬を備え、宿泊と運送の便をはかるために設置されたもの、とのこと。かつては北海道に六百十数か所あったが、今残るのは三か所のみ。

こちらは明治6年に札幌本道（函館から札幌）の開通により作られたそうです。

明治17年に中山久蔵氏が駅通取り扱いを命ぜられ、明治30年に廃止されるまで運営にあたっていました。とにかく頑丈に作られた建物でした。褒状があり、明治10年大久保利通から冷涼地でも育つ“赤毛米”の功勞によるもの。大久保は翌年11年に暗殺されたので、貴重です。北海道らしい囲炉裏もあり、当時は大勢の泊り客で賑わったことが想像されました。廊下も土間も分厚い板の頑丈な作り。クラーク博士が最後に農学校の学生達とお別れした所でもありました。



旧島松駅通所

● 31日 お昼頃、市の職員の方に最後のチェックをして頂き、一か月間住んだお試し住宅を後にして小樽に向かう。隣のおばあちゃんも、玄関に出て見送ってくれました。小樽の「かま栄」でお土産を買い、小樽フェリー乗り場へ。新日本海フェリー、「あざれあ」は今年の6月に就航したばかりの新しい船で、新潟まで波も無く快適に過ぎます。翌日の午後2時、埼玉の自宅に帰る。

### ●最後に

涼しい北海道北広島市で8月を快適に過ごせて幸せでした。北広島市は図書館やパークゴルフ、温泉、市の施設などが利用でき楽しく過ごすことができました。課題は、お試し希望者が多くなりなかなか抽選に当たらないことだと思います。

## チェンマイ下見旅行(2017年12月22日~2018年1月2日)

北海道支部 No.1726 佐々木 俊治

定年を迎えたなら、冬は暖かい地域で暮らしたいと思いロングステイを計画し「南の会」にも入会しながら諸般の事情により4年も過ぎてしまった。

ようやく、来年には実現出来そうなので候補地チェンマイに家内と下見に出かけることとした。

候補地はマレーシア他東南アジアで考えていたが、会報の情報や北海道支部の会合で話しを聞いているうちに、チェンマイが有力候補となった。

TVでタイに関する番組があれば見るようにし、日曜10時のFM放送「サバーイ・サバーイ・タイランド」も欠かさず聴いて情報収集に努めた。

12月22日雪の札幌から仁川経由でチェンマイに向かったが、仁川空港が季節はずれの暖気の影響で霧が発生し、遅延が重なり仁川で1泊、翌日チェンマイ着も夜中3時過ぎ、予定では自宅から10時間であったが2日もかかってしまった。

翌日昼過ぎから、早速出かけたが思いのほか涼しい。

北部なので、朝晩は涼しいと聞いておりそれも選択肢のひとつではあったが、現地の人は厚着をしているので、これくらいの気候は通常なのかも知れない。

乾期のはずが雨も多く降り、半袖では寒いくらいだ。せめて滞在中は南国を期待したが、天気は都合良くはならない。

古都と聞いていたが、車・バイクが多く喧噪としている。

横断歩道がほとんど無く反対側に渡る事が出来ない、歩道も段差がありのんびり散歩する様な雰囲気にはなれない。

車が止まっても、脇からバイクが飛び出してくるヒヤヒヤものである。

多数のバイクが渋滞の車の横を縦横無尽に走行している。車もわきまえているもので、信号待ちの時はバイクが通過できる様間隔をあげている。

バイクの半分くらいはノーヘルでスリッパ、スカー

トの人も多い。バイクは自転車とは違う、先の会報に当地での義肢支援活動の記事があったがバイク事故も多いのではと思う。

私は日本でカブに乗っており、レンタルバイクも考えていたが、とてもこの交通事情では危なくて乗る気になれない。

歩くには難儀するが、赤いソンテ（乗合タクシー）が市内を走り回っている。1回約百円乗り降り自由、非常に便利で移動はほとんどソンテを利用した。

市内もあらかた回った頃、お世話いただいた支部の方から会食に誘われた。オーキッドホテル向いの「レモンツリー」というレストランである。

タイ料理も少し飽きていたところであるが、この食事はタイ料理でも香辛料が少なめでパクチーも入っておらず大変美味しかった。

食後、ウクレレ同好会の演奏を聴かせていただいた。すばらしい演奏で「知床旅情」や「銀恋」等の懐メロも演奏され、久しぶりに歌った。

当地ではJAZZも聴けた。「南の会」の方にもJAZZファンが多いと思いますが、プラト・チャンプアク門のすぐ横に、「ノースゲート」というJAZZのライブハウスがあった。

この演奏もすばらしくモンクやコルトレーンのスタンダードナンバーを聴くことができた。お客はやはり白人が多い。

このライブハウスはチャージが無料でドリンク代のみで聴く事ができる。

象のマークのCHANビールが70バーツ（約250円）。熱演になんだか申し訳ないような気がした。

象といえば、メーサー調教センターに行ってきたが、あまりの数に圧倒された。80頭ほど飼育している様だが、そんなに沢山の象は見たことがないのでジュラシック・パークにでも入った様な気分であった。

元々、森から木の運搬に使われていた様であ

るが、重機にとって変わられ今は動物園で飼われている。アトラクションで2頭の象が連携して上手に鼻を使って大木を積み上げるのを見ると感心させれる。

大きなサッカーボールをこれまた上手にゴールにシュートする、そのど迫力には圧倒された。

タイから、「コンサドーレ札幌」にチャナテックというMFがきている。タイのメッシと呼ばれている様で素早い動きで活躍しJ1残留に貢献した。タイでもサッカーが盛んと思う。

帰国間際、ホイケオプレイス屋上での新年の花火大会鑑賞に誘われて、ビールと焼き鳥をご馳走になりながら見物した。

私たちは十分堪能したが、軍事政権になって規模が随分縮小したとの事である、次回来るとき

は盛大な花火を見たいものである。

TOOPS マーケットでは、ココナッツオイルが同程度の商品で日本の半額くらいで売っている。ご存じの方が多いと思われるが、中鎖脂肪酸が豊富に含まれ健康に良いとされ、ケトン体という成分は痴呆症の予防効果があるといわれている。

消費期限が長いので毎朝トースト用に1年分と土産用に大量に買い込んできた。

短い滞在期間であったが、家内が心配していた虫類もほとんど見なかった（寒かったせいかも知れないが）。殺虫剤とともに携帯ウオッシュレットも持参したが、当地にはホース式の洗浄器がついており不安な部分が解消された。

今回始めて訪れて、多くの日本人が滞在している理由が納得できた下見旅行でした。

## 女2人 タイ国鉄(SRT)新・寝台列車アドベンチャー旅 (バンコク～チェンマイ2週間 2018.1.16～30)

九州支部 No.1847 青柳 由美

関西の友人に「タイに行かない?」「バンコクは何度も行ったよ」「チェンマイは?」「ない」「私も。じゃチェンマイに足を伸ばす?」調べると、バンコク～チェンマイ SPECIAL EXPRESS がある。列車の旅大好き!「寝台列車の旅いいね～」軽いノリで、まず関西と福岡からバンコクに現地集合する旅の始まり～。

航空券はWeb 格安チケットを各自で購入。友人はベトナム航空。関空～バンコク往復 34,000円(ホーチミン乗り継ぎ)を入手。私はタイ航空直行便。福岡～バンコク往復。直行便はお高めでした。ホテル手配は私の担当。いつも利用しているBooking.comで予約。

バンコク・スワンナプーム国際空港到着後B1へ。数年遅れでやっと開通したエアポートレイルリンク(ARL)や地下鉄(MRT)スカイトレイン(BTS)を乗り継いで日本人経営のホテルに到着。部屋は55㎡。日本語TV5局、キッチン付。洗濯機や乾燥機、ジム、日本の本が沢山準備されており、暑い日中は涼しい部屋で読書。美人コン

シェルジュ(九州出身)の配慮で快適ホテルです。

久しぶりのバンコクは物価が高くなっており、渋滞は相変わらず空気は悪いがドライバーのクラクションが減りマナーが少し良くなっていました。公共の乗り物のテロ対策、荷物チェックは厳重。特にエアポートレイルリンクは電車が空港に着くと乗客全員が降りる度、全車両を厳しく点検。ふと2020年東京オリンピックの警備体勢は?と、頭をよぎる。電線を地下に埋める工事が進んでいるバンコク。工事が遅れるのは毎度の事で、電線を手の届く場所に、無造作に束ねて電柱に引っかけている。タイは相変わらず危なっかしい。

早速、旅の第一目的、バンコクからチェンマイまでの寝台列車の予約をする為地下鉄でファランポーン駅へ。2番出口からタイ国鉄バンコク中央駅に出ると、首に写真入りの名札を下げた女性が「チケットを買うの?お手伝いが要りますか?」と話しかけてきて「予約は12～14番窓口、パスポートを見せてね」と、教えてくれました。

しばらく運休していた寝台列車は2016年末



に復活『新・寝台列車』と呼ばれています。1日5便運行されている寝台列車のなかで翌朝の到着時間を考え19:35発をチョイス。この便はチェンマイ8:40着。タイ国鉄だし、どうせ到着は遅れると踏んでいました。

安全を重視して1等車のコンパートメントを希望すると、肩をすくめて「NO〜」。2週間全然ないという。はあ〜、乗れない?じゃ、2等車は?これも希望する当日も前日も満席。えっ、ウソ〜!! やっと予定を翌日に変更して購入。早めにWebで予約しておけば良かった! タイの寝台車人気を舐めていました。



2段ベッドの下段は窓があり景色が見える841BT。(約¥3,300、1タイバーツ=約4円)

上段は窓なし771BT。70BTの差なら下段が絶対良い!

参考までに 1等車コンパートメント

1,500BT前後、2人個室

寝台列車に乗る日に変更になり、予約していたホテル宿泊日を変更。今はWi-Fiとスマホさえあれば、Web予約は世界中どこに居ても変更可。Booking.comのカスタマーセンターに変更を連絡。チェンマイのホテルから英文で「了解。気をつけて旅を続けて来て下さい」との返信。便利な世の中になった!

元々、トラベラー(旅)は語源がトラブル。アクシデントは覚悟。トラブルがあればこそ記憶に残る旅になる。楽しい〜(^0^)/トラブル大好き〜。

他にすることも無くなったので、バンコク在住の友人を誘い3人でスーパー銭湯「湯の森」(BTSプロンポン駅)に行ってきた。

入浴料 450BT

CBカードを提示すると15%割引

65歳以上(シニア割引) 250BT

IDにパスポート提示が必要

入り口で、浴衣、バスタオル+タオルを受け取り脱衣場へ。



ロッカーはプレスレットの電子キーを鍵に近づけると自動で施錠されます。入浴は備え付けの黒いネット状の胸当てと下着を着用。皆さん、妙にセクシーです(^0^)/ 休憩所は浴衣で日本の新聞を読みながらリラックス。レストランもあります。帰りは受付に申し出ると、トゥクトゥクでBTSの駅まで無料で送ってくれます。

チャオプラヤー川のそばに「アジアティーク」という、船に乗っていくナイトマーケットが新しく出来たというので行って見ました。(BTSシーロム線サバータクシン駅)



先頭車両に乗ると出口が分かりやすい。人の流れについて行くと、無料の乗船場に着きます(注:有料もある)

・OPEN 17:00

船上でバンコクの夕日が楽しみ観覧車の電飾が綺麗でした。

いよいよ今回のアドベンチャー旅のハイライト、新・寝台列車に乗れる日を迎えました。わくわく気分で、ちょっと早めにタイ国鉄バンコク中央駅へ。

・18:00 いつも通り国王賛歌が流れると沢山の人が立ち止まってまるで静止画像。私達も思わず起立!!! 数十秒後、何事もなく人々が動

き始める。

駅構内にはシャワー室（10BT）があり乗車前に汗を流せます。売店で夕食を購入。アナウンスと電光掲示板でホームを確認してから乗車。嬉しい～、しあわせ(^\_^)最新鋭の車両も有るようですが、私達が乗った寝台車は古い車両でした。私はこちらの方が好きです。改札口はなく、乗り込むと車掌が乗車券をチェックに来て、一緒に朝食のオーダーを取って行きます。お粥セットを注文（味はお勧めしません）。その後、新しいシーツと枕・タオルケットで、座席をベッドにセッティングしてくれます。



・19:45 10分遅れでバンコクを出発。最初の駅はドン・ムアン空港駅。まばらに空いていた席があつという間に満席になりました。周りは殆ど欧米人のバックパッカー。アジア人は少なく日本人は私達だけ。14車両編成（1～3等車+食堂車）サービス過剰の冷房に震えました。向かいのベッド、ノルウェーの若い女の子2人連れは、短パン、Tシャツで寝ている。「寒くない？」と聞くと「NO～」だって。若いって、いいなあ～～。



長い登りの山岳地帯を過ぎ最終駅に。所要時間13時間強、700kmの列車の旅は8:55、チェンマイに15分遅れで到着。あまり遅れなかった事にビックリ!

まだまだ、降りたくない～～。列車に乗れた満足感で、カメラに向けて滅多に笑わない私も、満面の笑みです。この時期、朝夕涼しいチェンマイは「南の会」の方々が沢山滞在。早速、九州支部から紹介して頂いた関東甲信越支部の寺田さんにLINEで連絡を頂きました。ホテルまでわざわざ迎えに来て下さり、街の地図の見方、ソントウ（乗合バス）の使い方など、分かりやすくテキパキと教えて頂き、食事会に呼んで下さいました。素晴らしいネットワークです。日本人向けにアレンジされたお料理を頂き、久しぶりに辛い料理を堪能。関東甲信越支部12人の皆様方、大変お世話になりました。お心遣い有り難うございます。

同じホテルに、毎年避寒滞在をしている埼玉の6人と仲良くなり、ナイトサファリやプールサイドでのパーティーを楽しみ、ソントウに乗り街を観光する以外は読書三昧の毎日でしたが、流石に飽きて、スマホで検索をすると、30km離れたランプーンという隣町に素敵な temple があるというので、ミニバスに50分乗り行って来ました（片道25BT、車内払い、20分毎発）。車内の地元タイ人が親切で、あれこれ世話を焼いてくれました。

黄金の立派な仏舎利。靴を脱ぐ表示があり、仏舎利の周辺を裸足でお参りするとタイルが焼けていて足裏が、熱～!(>\_<)博物館もギャラリーもあり素敵な町です。チェンマイからバンコクへの復路は、LCC利用（Web手配 ¥4,071）。スワンナプーム国際空港で旅は解散、それぞれ雪の舞う関西と福岡に戻りました。

旅の出会いは一期一会。今回の旅も素敵な出会いが沢山ありました。さて次はどこへ行こう? 計画を練るだけでワクワクします。皆様も楽しい旅を!

## 熟男・熟女絶景巡りの旅

(NZランド南北島7,000km走行の旅・H29年11月1日～12月22日)

東海支部 No.543 清水 重一

\* 旅程 北島～オークランドシティ～パイヒア～ハミルトン～ロトルア湖～ネーピア～ウエリントン～空路クライストチャーチに11月17日着

\* 旅程 南島～クライストチャーチ～ダニーデン～クインズタウン～テアナウ～ワカナ～テカポ～クライストチャーチ～カイコウラ～ネルソン～グレイマウス～フランツジョセフ～ホックスグレイシャー～クライストチャーチに12月19日着、12月20日オークランドエアポートキウイホテル泊～21日帰国の途に

\* 旅人 東海支部 No.543 清水重一・  
No.570 山田善一  
推定年齢4名312歳



### 旅概要

①各地を絶景巡りをするにあたり宿泊についてはシティホテル、モーターホテル、モーターロッジ、モーター、B&B、YMCA、YHAなどに50泊する。

宿泊は全てネットで事前予約、費用は2家族分1,370,000円。すべて満足する部屋ばかりではなく暖房・シャワー・トイレ・無料Wi-Fiなど不満がありましたが、これがまた心をいやす何とも言えない体験をしました。



YHA利用



B&B利用

②レンタカーを利用し、北島についてはオークランド空港で借りウエリントン空港乗り捨て、又南島ではクライストチャーチ空港で借り返却も空港にした。

レンタル料金は北島17日間・南島34日間カーナビオプション付で421,000円（燃料費含む）



レンタカートヨタSUV

③食事については滞在先においてスーパーマーケットで食材を購入し、朝食、夕食は出来るだけ共同作業で作りました。食後の洗い物は積極的に協力した。

我々は食欲旺盛の為たまに栄養価の高いランチ・ディナーいただきました。

食材購入・外食費約 50日 600,000 円。



ランチ海鮮満足でした



NZ牛満足でした

#### ④観光、絶景秘境巡り

ミルホードサウンズは一般的なコースの為私達はダウトフルサウンズを選びました。

朝 10 時に栈橋に行き乗船する、景勝地を見ながら 60 分で下船し、バスで山越えること 60 分。再び湖に着き乗船し、大自然の迫力に鼓動が高鳴り、抜けるような青い空に身も心も溶け込みました。乗船から 120 分外海に出たところ、ザトウクジラ鯨に会いしばしの観察 30 分、ほっとする間もなく今度はミニペンギン・アザラシの島にも出会いました。

又翌日は洞窟体験し、土ボタルの幻想的、神秘的な世界を体験し又感動しました。

観光費用 220,000 円。



⑤南島クライストチャーチに 7 日間滞在しました。震災後 6 年経ちましたが、復興は進んでいるがまだまだです。特に大聖堂などは倒壊防止用の鉄骨が目立ちました。新しい街作りが進んで若者たちの活気が満ちているところも多数ありました。



⑥旅費航空券代 4 名分 1,210,000 円。私達は高齢のためと、フライトが 11 時間の旅になり今回はプレミアムシートを利用しました、サービスも良く快適なフライトでした。



#### ⑦総括・アクシデント

\* 震災の復興が遅れ国道が通行止めの為に、

う回路にて目的地に7時間かかり到着しました。事前に情報をキャッチしましたので事なきを得ました。

\*カードオンリーで決済しましたが、アメリカンエクスプレスカード決済不可、VISAカード決済どこでも（但しサインは不可のところあり、ピンナンバーが多い）使用できたキャッシングもOKレートは円で両替するよりよかった。都市銀行カードはどこも使用不可でした。

\*オークランド空港でスーツケースを受け取るときに底部の損傷に気づき、証明してもらい、帰国後に申請しましたが2月現在連絡ありません。

\*私たち52日間の内、最終の3日間小雨、曇りでしたが、誰もが体調も良く、快眠、快食で過ごしました、青い空、澄み切った景色、ラ

ベンダー、ルピナスの群生地自然映えの景勝地、どれをとっても非日常生活の体験で、満足のいくドライブ7,000kmの絶景巡りの旅でした。



スーツケース底損傷部位申請中  
(荷物を受け取るときは損傷がないか? 確認)



# 支 部 便 り

## 東北支部便り

支部長 No.1027 佐藤 周司

### 1. 寒さ厳しくコタツで暖を取り、室内で過ごすことが多い東北の冬

この期間、短期、長期で暖かな南国暮らしで海外に出ている会員も多い。

国内外に散らばる少数会員で会員同士の交流も難しく3月末までは休眠期として4月から支部活動を開始したい。12月に亡くなった東北支部副支部長小松氏のご焼香かたがた、山形県近辺で1泊2日の予定で支部総会。情報交換会&懇親会、半日観光を4月の第3日曜日(15日)に実施したい。いつも心配なことは何人の会員が出席してくれるのか!多くのお会員で議論し合い、大きな成果を出したい。各個人での行動も大切!集まりは年2回の情報交換会だけです。今まで参加していない会員の皆様。必ず参加願います。

### 2. また会員同士の交流の一環として前回に引き続き今年も2月14日~21日の8日間、No.467渡邊氏にお世話になりNo.1027佐藤の2名でセブ島観光

仙台空港一名古屋一セブ、乗り継ぎも短時間の待機でスムーズに往復出来た。1人では味わえない、1番印象に残った!!現地に詳しい渡邊さんに案内してもらい希望ホテルに7連泊。渡邊さんの友人が同行案内してくれた格安で行けたオプションツアー。

- ①ボホール島ではチョコレート・ヒルズ観光。1,000以上の円錐形の丘が連なる場所、展望台からの眺めは幻想的な光景でした。手の平サイズの小猿(体長10cm世界最小といわれる原始猿)を真近に見た。



ロボク川ランチクルーズは竹を組んだボートで両側にヤシの木が茂る川をさかのぼりライブ演奏を聴きながら地元素材を使ったランチを食べる。

- ②アイランドホッピングでセブ周辺の島々を巡り海にも入り船内でのバーベキュとビールを飲み、水上バイクでセブの海をゆったりした気分で満喫。



③市内観光。現地食。各食事処等、隈なく食べ歩き、何を食べても美味しかった。

現地でお会いした会員各位様にもいろいろお世話になり充実、セブ生活は楽しかった。詳しい会員のお世話になり、気兼ねなく、遠慮なく動けた。また行きたい！

失敗したのは、スーパーマーケットでカード払いで1万円相当額を買おうとしたら、パスポート原本の提示を求められ、コピーしたものを出したが、みとめられず翌日パスポートを持参して買い求めた事。買い物にもパスポート必要なのかなー？

④東北地方1番南側に位置する福島県の浜通り。温暖でほとんど雪がない地元南相馬市原町区です。パークゴルフなど如何ですか。9コース(81ホール東北地方で最大の規模)1日やり放題で500円(貸しクラブ+ボール700円)。週2~3回楽しんで競技しています。

東北支部会員でプレーを楽しみたい。すぐにご案内できますよ。民宿も沢山あり。ぜひやりましょう！



他会員様もお出で下さい。芝生の上でいい運動になります。

## 関東甲信越支部便り

No.1607 阿部 滋敏

関東甲信越支部の活動状況を紹介します。

### ◆11月サロン会

日時：11月23日(木・祝)

13:30~16:40

場所：東京都南部労政会館 第6会議室、  
第3会議室(情報交換会分室)

出席者：サロン会 55名

懇親会 41名

#### 1. 介護から相続遺産分割について

日本大学 船山泰範 元教授

現在、南の会の会員には両親や配偶者に介護の問題や相続に直面されている方も多く、これらの問題に目途をつけ、残された「健康年齢」の内に南の国でステイを楽しまれたら良いと思う。

レジメ4ページに亘るお話で、

- ・相続人が認知症にかかっている事例
- ・遺言の方式と効能
- ・自筆証書遺言の例

などを、現在、弁護士をされている先生が実体験に基づき、解りやすくお話された。講話後、質問も多く活況であった。

#### 2. 台湾ぐうたら生活

No.923 永田隼人 会員

2012年から連続6年、毎年花粉症の時期に、台湾中部の台中にシーズンステイしている。振英会館での避寒を兼ねた「普通の暮らし」について話し頂いた。後半、「銀」についてのお話も興味深かった。

#### 3. ロングステイフェア2017 参加報告

No.1207 宮原正宇 会員

今年は11月20日に有楽町の東京国際フォーラムで開催された。南の会のブースは盛況で、50人以上の方がアンケートに回答され、内、30人の方は氏名、住所、メールアドレスなどが記載されており、本気度を感じた。

#### 4. 情報交換会

テーマごとに3ブロックに分かれて実施した。特に第3グループには、ロングステイフェアでお誘いしたゲストの方が10名近く参加され、会の紹介や人気の高いチェンマイ、マレーシア、ハワイの情報を提供した。

#### 5. 懇親会

ゲートシティ大崎ウエストタワー地下1階「ロオジ」で開催した。

制限時間の19:30を過ぎても話が盛り上がり、300円追加して居残るグループも多かった。



船山泰範 先生



永田隼人 会員



ゲストの方の自己紹介

#### ◆12月サロン会

日 時：12月24日（日）

13:30～16:45

場 所：東京都南部労政会館  
第5、6会議室

出席者：サロン会 41名  
懇親会 30名

##### 1. 相続税よもやま話

No.1032 瀧川清人 会員

前回の遺産分割の話に続き、相続が開始したとき、

①相続人の確定(同時死亡の推定もふくめ)

②相続財産の種類、評価方法

③相続方法

④分割

⑤相続税の計算方式

について、経験したことを交え、お話された。

#### 2. フィリピンの概要とロングステイ、リタイアメント、観光の現状

フィリピン観光省セクションチーフ

横山泰彦 講師

フィリピンにおけるロングステイ、リタイアメントビザ（預託金額が引下げられた）、英語留学（英語が公用語で、なおかつ母国語でないため、教え方が上手）、食べ物（辛くなく、また油濃くないので日本人向。フルーツが豊富）等、色々な切り口でフィリピンを紹介いただいた。



横山講師

#### 3. 情報交換会

「相続」、「ハワイ・チェンマイ・KL等」の2つのブロックに分かれて実施した。

#### 4. 懇親会

場 所：ロオジ（ゲートシティ大崎ウエストタワー地下1階）

サロン会の出席人数に比べ、割合多くの方々に参加いただいた。

#### ◆1月サロン会

日 時：1月20日（土）

13:30～16:45

場 所：東京都南部労政会館  
第5、6会議室

出席者：サロン会 26名  
懇親会 22名

##### 1. 白雪姫とカトリセンコウのカナダ珍道中

No.434 大野悦子 会員

ちょうど昨年末にNHK テレビで「有村架純 カナダ大自然の旅」と題した番組が放映（12月16日と29日）されたばかりですので、



今回は平成26年6月23日から7月22日にかけて、カナダのバンクーバー、ウィスラー、モントリオール、プリンス・エドワード島、トロントを周遊して来たときのお話を致します。ちょっと古い話ですが、その頃は、NHKの朝の連続テレビ小説で「花子とアン」が放送されている時でしたので、プリンス・エドワード島では、日本からのツアー客が同じホテルに宿泊していました。

## 2. 北タイの旅【山岳民族・ボランティア・金三角】 No.1763 小西隆司 会員

タイの北部を訪れ貴重な体験をすることが出来ました。

アカ族・リス族・カレン族・バロン族等、山岳地帯は深い緑に抱かれ、独自の習俗を守っている集落が点在しています。集落に入ると山の音以外無く、何と空気にも甘美な匂いがあります。家の周りには赤い花が咲き、鶏が自由に歩いている桃源郷のようなところで老婆がのんびりと土産の人形や帽子を作っていました。集落の外れから枯れ草が燃える匂いがしました、小さい頃の焚火から最初に漏れてくる匂いのような懐かしい感覚です。実はアヘンを吸っていると後から知らされました。また、現地在住で当会の会員でもある湯浅さんが毎月行っている、小学校でカレーを作るボランティア活動に参加して、現地の昼食の習慣に触れることも出来ました。

ゴールドトライアングルは漢字表記で「金三角」と書かれていました。

タイ・ミャンマー・ラオスの国境にも拘らず漢字表記がなされています。

中国の旺盛なエネルギーを感じると共に、若い日本人はもっと海外に出て行かないと世界の競争に遅れていく気がしました……。

## 3. 情報交換会

3班に分かれ活発な情報や意見交換が行われた。

## 4. 懇親会

17:00よりいつものゲートシティ大崎

ウエストタワー地下1階「ロオジ」で和気あいあいと行われた。



大野悦子 会員



小西隆司 会員



情報交換会

## ◆パソコン教室

毎月会員番号 No.60 の渡辺会員にご指導いただいている。

## ◆南国テニス同好会

毎月会員番号 No.1068 の山科会員を中心に楽しんでいる。

## 東海支部便り

東海支部長 No.1601 高島 恵

## 1. 2017年11月定例会

2017年11月12日(日)13:30~17:00、ウィル愛知で14名が参加して東海支部の定例会が開かれました。



- (1) 「ウィル愛知フェスタ 2017」の段取り打合せ。11月18日（土）9：00～12：00 於第三会議室で開催予定。
- (2) メールの分類方法について：東海支部のメールと他支部からのメールを区別して管理する方法を梶野さんから説明。
- (3) 平日サロン会：12月度はトヨタ産業技術記念会を予定。
- (4) 2018年6月度の定例会日程を第3日曜日（6月17日）に変更。
- (5) 4月度新年度初総会を新企画により盛況に開催したい。講演会の開催、ビンゴゲームなど。
- (6) お帰り報告

梶野さん：8月からアメリカ（デトロイト、ニューヨーク）、ベトナム（ホーチミン、ナチャン、ダラット）、台湾（台北、シンチク）。写真はベトナムのトリックアート。



- (7) お出かけ予定

小林さん：12月10日～2月10日

チェンマイ

梶野さん：1月12日～2月8日 台湾

神谷さん：2月9日～3月12日 ハワイ

## 2. 2017年11月サロン会

晩秋の一日、菊香る晴天の名古屋城で東海支部の平日サロン会が開かれました。とても暖かい一日を皆さんと一緒にボランティアガイドの伊藤さんの説明に聞き入って有意義に過ごすことが出来ました。最後はお抹茶席で、ゆっくりして一日終わりました。お天気に恵まれ、最高でとても楽しかったと好評でした。



## 3. 「ウィル愛知フェスタ2017」に参加しました

11月18日（土）9：00～12：00 会員拡大の為、「ウィルあいちフェスタ 2017」に参加し南国暮らしの会を資料やパワーポイントで紹介しました。（訪問者約40名）。



## 4. 2017年12月定例会

2017年12月10日（日）東海支部の定例会が開かれました。参加人員：17名。支部長から「ウィルあいちフェスタ2017」の報告。ウィル愛知フェスタで見学されたオブザーバーが自己紹介後、支部員が自己紹介。オブザーバーは「今年リタイアしたので、今後は南の暖かい海岸で暮らしていきたい。南の会でいろいろな情報を得て、今後の生活に生かしていきたい。」との事でした。

次いで来年4月度定例会（総会）の件：国際センターに講師を依頼してベトナムの話を、また川地さんにチェンマイの話をして

らう。さらにビンゴゲーム、パーティを企画してより多くの会員の参加を促す。

加藤さん報告：タイバンコク暮らし、キャビア産地巡り、日本中の温泉地巡り（加藤氏流の格付けによる）を映像で紹介。

<お出かけ情報>

加藤さん：12月26日～2月末 バンコク

梶野さん：1月12日～2月8日 台湾高雄

安田さん：1月25日～30日 バンコク

1月30日～2月26日

チェンマイ

神谷さん：2月9日～3月12日

ハワイ島、オアフ島

水野さん、榊原さん、服部さん：

2月1日～2月7日 北海道北広島市

土井さん：1月1日～1月10日

鹿児島、宮崎、別府

\*12月17日（日）10：00～12：00 特別マレーシアセミナー（興味のある方は連絡を取ったうえで参加してください）

場 所：安保ホール 2階201号

問い合わせ先：

コスモプラン 増田氏

TEL 03-6661-7683

admin@cosmoplan.jp 要予約

## 5. 2018年2月定例会

2018年2月11日（日）、「ウィル愛知」にて13名が参加して定例会が開かれました。支部長から挨拶・連絡の後、4月8日東海支部総会及び定例会 について討議。講師はベトナムのグェンド ツイ マイさんやチェンマイから帰国する川地さんをお願いした。

(1) 山田さん夫婦と清水さん夫婦によるニュージーランド50日間ドライブの旅の報告。レンタカーを借りて夫婦2組で北島・南島7,000km。モーター、B & Bなど泊まる。20年前は日本より安かった物価が高くなっている。料理はフィッシュアンドチップスとサンドイッチと単調。漁師町で食べたクラムチャウダーは美味しかった。

景色は素晴らしい。氷河や土ボタル。人は親切。現金の調達はクレジットカードでのキャッシングが便利で安い（特にすぐ返済する手続きをとると金利ゼロ）。

(2) 梶野さんによる台湾（高雄）現地交流の旅の報告：数々の美味しい台湾料理の写真。個人所有美術館で、江戸時代末期から大正時代にかけての優れた工芸品を手にした時の驚きと感動。親日国台湾。

(3) 水野さんによる北海道北広島市お試し住宅と札幌雪祭りの報告：北海道桂支部長のご親切に感謝。7名で雑魚寝。

<お出かけ情報>

梶野さん：3月12日から3泊4日 香港

### 関西支部便り

支部長 No.501 大川 泰永

関西支部の活動をご紹介します。

前回の報告からのイベントは、昨年12月の忘年会です。

1. 日 時：12月14日（木曜日）

11：00～13：00

2. 場 所：「里山ダイニング」 大阪梅田  
阪急ターミナルビル14F

3. 参加者：35名

4. 内 容：

- ・今回は平日の開催でありましたが、ゲストを含め35名の参加がありました。
- ・8月のサロン会に続き梅田の里山ダイニングで開かれました。大川支部長の挨拶でも紹介されたように、何とか20名といった頃の忘年会から比べ倍増の賑わいです。飲み放題でバイキング形式のお店ですが、和食メインで疲れた胃袋にもやさしいです。わたしの大好きな黒ビールもあり、飲み物は多彩です。
- ・お楽しみのビンゴゲームは、いつものように企画担当の片山様ご夫妻から大きなコーヒースタンプを始めた皆さんのコーヒースタンプをご提供

いただきました。片山様ありがとうございます。

- ・次回は4月7日土曜日の例会ですが、国内居残り組のために恒例の天満で「お昼のサロン会」が3月頃にあるかもしれません。よろしくお願いいたします。

【文責】 関西支部 総務担当  
No.1634 長田隆秀



## 九州支部便り

No.581 朝永 清寿

### ○温泉地で忘年会

日 時：平成29年12月1日(金)～2日(土)

場 所：雲仙みかどホテル

参加者：18名



九州支部では忘年会を単独で企画したのは今回が初めてです。候補地を4ヶ所挙げ、皆さんからの希望を基に、多数決でこの温泉リゾートホテルを決定しました。



蟹、刺身、寿司、国産牛など食べ放題と飲み放題の夕食を済ませ、18人が和室の一部屋に集まり、大宴会の開始です。

穴見支部長が準備したじゃんけんゲームに始まり、カラオケ、器楽演奏、中島会員ご夫婦のかくし芸等、もうお腹を抱えて涙を流して大笑いしたひと時でした。



翌日2日目は島原観光として、火砕流で被害に遭った大野木庭砂防未来館、土石流の爪あとが残る水無本陣深江、鯉の泳ぐまち島原、水の湧き出る四明荘等を訪問し、最後は浜松屋本店で島原名物「具雑煮」を食べて解散しました。

### ○新年情報交換会

日 時：平成30年1月7日

場 所：福岡市NPOボランティアセンター  
「あすみん」

参加者：26名（ゲスト2名を含む）

### ●体験発表

・コスタネオロマンチカによるクルーズ旅行車  
で四国旅行 No.1374 植田良美氏  
博多発7泊8日のクルーズの旅に参加。具体的な数字を示しながら、かかった費用についての話がありました。

・女3人アドベンチャー旅

No.1847 青柳由美さん

それぞれ違う場所に住むお友達女性の3人が、アルバニアという、地図もない、案内もない、列車もない国へ、現地集合で現地解散という、とんでもない旅行を実行された話でした。

・車で北海道移住体験

No.1496 中島明子さん

昨年10月の熊本情報交換会でお話いただいた内容を、参加できなかった会員のためにアンコールで再度お話しいただきました。お話がとても面白く、また岡本さんの質問に対する答えが漫才の掛け合いみたいで、爆笑の渦に包まれました。

### ・マカティに不動産投資

No.1090 岡本吉晴氏

ドゥテルテ大統領になって以来のフィリピンの発展（インフラ整備、治安、経済成長等）について熱く、かつ、いつもの「吉本節」で、面白おかしく話をしていただきました。



### チェンマイ支部便り

支部長 No.293 伊藤 寛 代行

総務 No.1041 中西岩夫

2018年のハイシーズンは、南の会の来訪者数も140名を超えた事でもおわかりの様に、欧米人、中国人、韓国人の観光、短期滞在としてのチェンマイ人気と、タイ人の国内観光の地として、今まで以上に、賑わった感があります。

どこへ行っても観光客が多く、ゴルフ場は今までにこんなに混んだことは無いくらいでした。その様な喧騒も、3月初旬で終わり、皆さん口々に「また来年もお願いします」と帰国されます。

暑さが40度を超える4月が過ぎると、雨季に入る準備、時々、夕立が降りはじめ、果物が美味しい季節を迎えます。最近は白タクのウーバーの利用者が増え、うまく利用されている話を聞くにつけ、突然の雨に見舞われる季節の強い味方ができ、雨でこの時期は車が無いと不便と二の足を踏まれていた方には、空いていて条件の良いこの季節はおすすりめかもしれません。

今のところ、ウーバーでの大きなトラブルの情報は入っていませんが、あくまで白タクなので、自己責任と、女性1人での利用、深

夜での利用には注意が必要な気がします。

なお、会員の多い南の会と言えども、昨年までの実績で言えば、この時期の滞在者は僅かですので、ゴルフ、食事にお誘いくださいと書いても、全て自分でする事になるのはご了承ください。チェンマイ支部というのは、あくまで、出張所と考えて頂くと分かりやすいと思います。次回役員会は6、7月。サロン会は8月開催予定です。

タブレット、スマホは、必須基本アイテムです。情報は自己責任で。

この時期、コンドミニアムは、希望の部屋が取りやすく、住み心地がよければ、ハイシーズンの予約をされていっても良いでしょうし、コンドミニアムによりますが、荷物も無料で預かったりしてくれます。日本人が少ない分、新しい出会いとリスクがありますが、知識も増える様な気がします。

今までに無い体験と出会いをチェンマイで、この時期してみませんか？

### 南の会 チェンマイ第13回ゴルフコンペ

今回は52人の参加（女性11名）で盛大に行われました。

前回までシニアターは70歳以上でしたが、男性陣の半分近くが70歳超えになるため75歳からシニアターに変更しました。益々老人のゴルフに!!!

ベスグロは平岡さんでしたがゴルフプロの為、ハンデ10で佐々木さんがベスグロとなりました。

ゴルフ成績計算ソフトは人数が多い為、急遽パソコンの渡辺さんをお願いしてソフトの変更をお願いして対応しました。

		イン	アウト	グロス	ハンデ	ネット
優勝	広上 幸雄	45	48	93	21.6	71.4
準優勝	川地 賢治	45	47	92	20.4	71.6
3位	平岡 清典	41	37	78	8.0	72.0
女性優勝	宮原美喜子	45	49	94	21.6	72.4
ベスグロ	佐々木五十四	41	43	84	10.8	73.2



### ペナン支部便り

支部長 No.1630 菅野 純

1月29日に、ペナンを出発(出発時30度)、30日成田着(到着時0度)。極寒の日本から、発信させていただきます。

前号以降の支部活動(2017年9月以降)

- 9月30日 第3回役員会  
(於 Winter Warmers)
- 10月6日 第3回サロン会 (Golden Gate Stembot Restaurant)
- 11月25日 第4回役員会  
(Winter Warmers)
- 12月6日 第4回サロン会 (Noble Season Chinese Restaurant)
- 1月13日 臨時役員会  
(Winter Warmers)
- 1月23日 GOLF会 (Mountain View Golf Resort) 14名参加
- 1月26日 第5回サロン会  
(Daily Fish PG Sdn Bud)

### ペナンの近況

昨年12月頃より、ペナンも地球温暖化?の影響なのか、雨季も明けて快晴が続く気候になるはずなのに、曇天の日が多くなってい

る感がします。新年を迎えてからも、例年と比し、2、3度低いのではと感じます。(それでも、雨が降った日の翌朝でも、20度以下にはなりません)

今年は、新年を迎えて、来べき方も多く、1月26日のサロン会には元支部会員の方々にもゲスト参加を頂き、楽しく、賑やかな会をもつ事が出来ました。

前号、前々号でもご案内致しましたが、相変わらず建設ラッシュが続いており、コンドミニアムの賃料も、さらに下がって来ているように感じております。3ヶ月程度の短期契約でも、2、3年前の年契約程度の価格になって来てる物件も多くなって来ている様です。

家賃以外の物価は、逆に、少しずつ上がって来ているように感じています。ゴルフ費用も、以前は2,000円以下でプレー出来ていましたが、最近では2,500円近く来ています(冬場は、日本近隣?の国の方々がツアーを組んで来ている事も影響しているのかも知れませんが一春になれば、プロモーションも多くなって、又、安くプレーが可能になる事も考えられますが)。

文頭にも書かせて頂きましたが、やはり、日本は非常に寒く(今朝の東京はマイナス1度でした)、やはりペナンでの生活は、四季も無く、一年を通して、短パン、Tシャツの生活は大変気楽で、衣、食、住も安く、日本人が将来住みたい国11年連続トップであると言われているのが、今回の帰国でよく分かりました。

是非皆様も、一度は、下見だけでも、ペナンにいらして下さい。支部全員で、大歓迎致します!!



### クアラルンプール支部便り

支部長 No.1822 酒田 充

クアラルンプール支部は、去る2月22日 Selangor 州のお隣の Negeri Sembilan 州の Staffield Cuntry Resort においてゴルフコンペを開催しました。今回は MM2H VISA(マレーシア・マイ・セカンド・ホーム ビザ)で10年余マレーシアでロングステイされた松下茂さんの本帰国に伴う送別会と昨年本帰国された二瓶行夫さんが旅行で来馬されていたので、その歓迎会も兼ねて行いました。

前回の Kelab Golf (KGPA) では終盤で雨に祟られましたが、今回は天候にも恵まれて、楽しくプレーすることができました。

このゴルフ場はマレーシアでホテル、航空、リゾート開発等を手掛けている複合企業体であるベルジャヤグループが所有しており、クアラルンプールからは少し距離がありますが3コース27ホールあり、バギーもコース内に入れるので人気があります。最近では寒い冬を逃れて韓国人が大型バスで大勢おしかけてきております。

プレー後は Kajang にある Golden Corner Seafood Restaurant において食事会。このレストランは、この周辺では冷房もあり小奇麗で味も良く、かつリーズナブル。今年のチャイニーズニューイヤーは2月16日でしたが、まだ中華レストランは正月料理を出しています。私たちも中国春節のコース料理を注文。最初にでて来るのがイーサン（魚生）。これは野菜や生魚などが盛りつけてあり甘酸っぱいタレがかかっています、これをみんなで立ち上がり、自分の願い事を唱えながら長い箸で何回も掬いあげては落とします。マレーシアやシンガポールで見かける慣習ですが、中国人にとってはなくてはならない行事の一つです。我々も願かけをしたのできっと幸運があると思います。その後は二瓶さんのお土産の日本酒もいただきながら食事と歓談のひと時を過ごしました。

次回は KL 市内のゴルフ場で再会することを確認して散会しました。

当支部では最近会員向けに日本からホタテやマグロ等を輸入している海鮮卸問屋のウェアハウスセールと RHB 銀行のプロモーションレート 15 ヶ月定期預金 4.39% の情報を提供して随分喜ばれました。今後も有益な情報は共有していきたいと思っています。

当支部の喫緊の課題は会員の拡大です。本帰国される方が続き新規加入がないので会員は減少してきています。今年は何とか会員の相互連携を深めつつ新規会員を獲得したいと考えております。

### ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

学生達は3月末または4月初旬に卒業式が行われ、それから約2か月の夏休みが始まります。家の周りには子供達の声が聞こえ、道路は通学の学生がいないため、朝夕のラッシュアワーが少し緩和されている様に思えます。南国で年

中温かいダバオでもこの2か月は暑く、海や山へとバケーションに出かけます。この時期1月から約2か月から3か月避寒で滞在された会員の皆様も、過ごしやすい日本にお戻りになられてのんびりすると言うかダラダラした生活に戻ります。これはこれで生活にメリハリがありマンネリにならず、年間通しての生活のリズムとなりました。昨年末は恒例の年忘れアイランドホッピングが行われ、今年1月は昨年お亡くなりなられた前ダバオ支部副支部長の佐々木さんの一周忌が行われ、40人を超す参加者の中、故人を偲んで食事会が行われました。1年過ぎるのも早いものですね。また会員の方のご要望で大統領の自宅で記念撮影を行いました。現大統領は地元出身でもあり親しみはありますが、なかなか親しいだけに自宅を見たいという気は起らず、お誘いをうけ行ってみると質素な家で共感できました。またご夫婦での滞在の方もお越しになられ、冬場の避寒地候補としてお試し滞在される方も増えている様に思えます。特別な観光場所はありますが、少し田舎で少し都会で、笑顔がすてきで南国独特な人なつつこい人がたくさん住んでいるダバオに来てみませんか。



海水浴



佐々木さん一周忌





安倍首相も訪問したドテルテ大統領の自宅前



日本が寒波のなかダバオでの海水浴



美しいイスラレッタビーチ

## ハワイ支部便り

支部長 No.1439 塩川 亨  
(2018年3月まで)

ダニエル・K・イノウエ空港（昨年ホノルル空港の名称が変更）からワイキキと逆にフリーウェイ走ると高架鉄道の工事が進められています。今年カポレイ、アロハスタジアム間で一部開業の予定です。3年後にはアラモアナセンターまで計32kmの路線が完成予定で、空港にも駅が出来ることからだいぶ便利になりそうです。日立製作所製の車両は4両編成で約800人の乗客を乗せることが出来るうえ、自転車はもちろん、ハワイらしくサーフボードのためのラックがあるそうです。

これまで車のない旅行者にとってパールハーバーやアロハスタジアムはバスで行くしかなかったのですが、これからはミートスワップでの買い物やスポーツ観戦が気楽に出来そうです。またカポレイの街やコオリナ地区の散策を勧める旅行記事もこれからたくさん出てきそうです。

## 部 会 伝 言 板

### 総 務 部 会

担当理事 No.1763 小西 隆司

#### 【主な活動計画】

#### ◆第3回理事会 12月9日実施

- ・予算進捗状況と次年度（第21期）予算作成の依頼

・定款の改訂案について

・ロングステイフェア（11月20日）の報告

・平成30年度（第21期）体制について

・その他、各部会からの報告・提案

#### ◆第4回理事会 3月17日実施予定

・今期事業報告と来期予算案

・来期予算案説明

- ・来期役員選任の件、新任理事と退任理事承認について
- ・定款の見直し、最終案の審議
- ・その他、各部会からの報告・提案

#### ◆第5回以降の理事会開催予定

- ・第5回理事会 4月8日(日)
- ・第6回理事会 5月12日(土)

#### ◆今後の予定

- ・役員・支部長会議 5月26日(土)  
場所未定
- ・総会 5月27日(日)  
東京都南部労政会館第6会議室

### 経 理 部 会

担当理事 No.1032 瀧川 清人

3月の理事会に提出すべく、2月末までの収支一覧表と予算案の作成に取り組んでいます。

### 広 報 部 会

担当理事 No.1207 宮原 正宇

この度はチェンマイの近況について、一言ご連絡申し上げます。私は年明けの1月11日から2カ月間の予定でチェンマイ入り致しましたが、国王逝去に伴う服喪期間や弔事関連行事が昨年中に全て一段落し、街は穏やかで落ち着いた日常の有様を取り戻している感がありました。

しかしながらこの時期のチェンマイの気候は乾期にあたり、平均気温25度以上の温暖で過ごしやすいハイシーズンにも関わらず、12月から来られている方の話では、朝晩大変肌寒い日が続く、長袖のシャツやジャケットを何枚も重ね着するほどであったとの事。

朝晩の冷え込みは1月一杯続き、2月半ばからやっと本来のチェンマイの暑さが戻ってきた感がありますが、これも世界的な異常気象の現象がここチェンマイにまでも影響を及

ぼしているように思えてなりません。

そのような中、2月2日に例年恒例となった南の会チェンマイ支部主催の「チェンマイサロン会」が市内のグランドビューホテルにて正午より開催されました。

この時期における南の会の会員による訪チェの人数は、ここ数年毎年増え続けており、今年も推定100～110人程の出席人数となり、チェンマイの2月のサロン会としては、恐らく過去最高記録ではなかったかと推量いたします。

そのため、リーズナブルな値段でこの人数を一堂に収容出来る適当なホテルがなかなか見つからず、またこの人数のため、事前の設営準備には大変な労力を要し、チェンマイ支部の役員の皆様には毎年陰ながら大変なお骨折りを頂いております。

お陰様で当日は全国から集まった南の会会員を前に、支部役員の皆様のご紹介を始めとして、訪チェ中の本部理事5名も紹介され、自己紹介、名刺交換等々、賑やかで晴れやかな大変楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

これもひとえに支部役員の皆様の日頃のご尽力の賜物であり、ランナーゴルフ場の受入管理のご協力とも併せて、誠に有難く心より感謝申し上げます。

いずれにしてもこの様な現地の受入側の陰のご努力こそが、現在の南の会における絶大なチェンマイ人気を支えている重要な一因となっていることは、間違いありません。

この様な好環境のもと、訪チェの会員の皆様におかれては、在チェ中の日々を如何に楽しく過ごされるかに腐心され、ゴルフ、テニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、グランドゴルフ、ジムトレーニングやプール等々、あらゆるスポーツはもとより、花祭り見物をはじめ日帰り温泉や、近隣国への短期旅行、ローカルな郡部への散策日帰り旅行、市場巡り、毎晩のグループごとのお食事会、

タイマッサージや奥様方による高級ホテルでのランチや、お茶会等の「女子会」、社交ダンス教室、英会話やタイ語会話の教室、陶芸や、カービング教室など数え上げたらキリがないまさに百花繚乱の有り様にて、皆さん本当に心から人生を楽しんでおられる風情にて、南の会の方々はまったく年をとることなど忘れて、誠に若々しくバイタリティーに溢れておられるとの印象を一層強く感じさせられるこの2か月間でした。

振り返ってみるに、この様な素敵なロングステイ環境を享受できる背景には、まさに「南国暮らしの会」の存在あつての事であることは、論を待たぬことであり、素敵なお仲間達との交流を含め、今更ながら南の会の会員であることに感謝し、その感慨をあらたにする今日この頃です。

今だチェンマイにいらしたことの無い会員の皆様、是非一度チェンマイに足をお運び下さい。チェンマイ生活を熟知した先輩会員達が、一緒に遊びたくてうずうずして待っています。

## 会 員 部 会

担当理事 No.1388 寺田 光江

会員部会では1年365日休みなく会員手続きを行っております。

年が明け1月～3月は2018年(平成30年)継続会員の手続きで毎日確認作業・記入作業

に追われております。

### 総会の表決権について

何らかの理由で会費を3月31日までに払えず、4月以降になる場合、総会の表決権者は細則第13条(4)により、3月31日までに会費を納めた会員となっております。さらに、総会に出席出来ない会員は、委任状を提出することになっています。同じ継続会員でも表決権がありませんが、それ以外は何ら変わりはありません。

29年度理事会にて決定いたしましたことを報告させていただきます。

新入会いただいた折、お送りいたしていたものは下記の物ですが、今まで送付していた内容を一部変更させていただくことにいたしました。

- 1：会報
- 2：会員名簿
- 3：必携
- 4：補遺
- 5：番号通知
- 6：今回貼り付けましたホームページ等4つのパスワード
- 7：名札
- 8：首から下げるネック

1～7までは今までと同じです。

8の「首から下げるネック」を送付から省くことといたしました。

ご理解いただけますようお願いいたします。

## 友好団体紹介コーナー

- |   |  |
|---|--|
| <p>★一般財団法人ロングステイ財団<br/>http://www.longstay.or.jp</p> <p>★チェンマイロングステイライフの会(CLLクラブ)<br/>http://cll.thaijp.net/</p> <p>★ワールドステイクラブ (WSC)<br/>http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/</p> | <p>★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPURKL<br/>(クアラルンプール) 日本人会<br/>http://www.jckl.org.my/</p> <p>★北ルソン日本人会 (JANL)<br/>http://janl.exblog.jp</p> |
|---|--|

## 南国暮らしの会 支部一覧

2018年5月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	1027	佐藤 周司	shujisato1947@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	1607	阿部 滋敏	abe-shigetoshi@d05.itscom.net
東海支部	1601	高島 恵	kankei@outlook.com
関西支部	501	大川 泰永	okawayasuhisa@yahoo.co.jp
九州支部	651	穴見 保彦	yasu325anami651@yahoo.co.jp
チェンマイ支部	239	伊藤 寛	kan_itoh_9@hotmail.com
バンコク支部	—		
ペナン支部	1402	橋本 哲男	te-golf@nifty.com
クアラルンプール支部	1822	酒田 充	mysakeda@gmail.com
マニラ支部	—		
セブ支部	1623	田口 秀男	guccideo@yahoo.co.jp
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
ハワイ支部	1278	外池 一子	k_tonoike@hotmail.com
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	kiso2130@gmail.com

※は支部長代行

## 編集後記

今回も皆様からのたくさんの投稿をいただき春号完成の運びとなりましたこと、改めてお礼申し上げます。特に今回はフィリピンを特集し様々な分野からの寄稿を頂戴し充実した内容になりました。また今年もチェンマイには多数の方が集結し活発な会の活動の様が覗えます。編集部といたしましても紙面にて皆様の活動の一端を紹介できるように努めてまいりたいと存じますので、これからも積極的な投稿をくださるよ

うお願い致します。丁度この原稿を書いているのは日本の花見の季節到来の時期です。皆様のご多幸とご健康を祈念してカンパニーしたく存じます。

会報誌連絡アドレス：

**kaihou.henshu.iinkai@gmail.com**

**編集委員 No.1431 兼森 省治**  
**No.1208 澁谷 幸一**

## 「南国暮らしの会」から自己責任の徹底！

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらを基にした集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

### 【連絡先一覧】

- (1) 会報に関するお問い合わせ [kaihou.henshu.iinkai@gmail.com](mailto:kaihou.henshu.iinkai@gmail.com)
  - (2) メールアドレスの変更 [mail.iinkai@gmail.com](mailto:mail.iinkai@gmail.com)
  - (3) 会員関係（住所変更など） [kaiin.bukai@gmail.com](mailto:kaiin.bukai@gmail.com)
  - (4) 経理関係（会費、名刺ロゴマークなど） [keiri.iinkai@gmail.com](mailto:keiri.iinkai@gmail.com)
  - (5) その他一般 [home@minaminokai.com](mailto:home@minaminokai.com)
- (メールには要件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

### 会報原稿、写真募集期間 年間予定

会報夏・秋季号	6月1日 から 7月10日迄	会報発行日 2018年9月8日
会報新年号	10月1日 から 11月10日迄	会報発行日 2019年1月11日
会報春季号	2月1日 から 3月10日迄	会報発行日 2019年5月10日

原稿募集初日、ML、BBSにて会報担当者名、送信先メールアドレスをご案内致します。

### 【編集委員】

No.1208	澁谷 幸一	No.1309	青木 一義	No.1323	横山 正紀
No.1431	兼森 省治	No.1575	吉田 博	No.1640	川野 俊次
No.1733	明間 崇文				

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: [info@minaminokai.com](mailto:info@minaminokai.com)



## 投稿写真コーナー



東北支部情報交換会



関西支部サロン会



九州支部情報交換会



チェンマイ支部サロン会



ダバオ支部サロン会



ペナン支部サロン会